

機動戦士ガンダム THE ORIGIN

公式ガイドブック

原案
矢立肇・富野由悠季
メカニックデザイン
大河原邦男



Kadokawa Comics A



機動戦士
ガンダム THE ORIGIN 公式ガイドブック 安彦良和

KCA80-9
角川書店



Kadokawa Comics A

機動戦士ガンダム THE ORIGIN 公式ガイドブック

安彦良和

原案

矢立肇・富野由悠季

メカニックデザイン

大河原邦男

機動戦士ガンダム THE ORIGIN 公式ガイドブック

安彦良和

原案
矢立肇・富野由悠季
キャラクターデザイン
大河原邦男



V作戦始動

連邦軍の
最高機密

モビルスーツ開発において
シオンに隠れたトップ機密の
連邦軍は秘密裏に、ガンダム
で最高級の技術を開発してい
た。あつた (1981)

これが
連邦軍の新MSの
威力なのか!

敵を凌駕する
機動性!!

動け!ガンダム

この目いさなのモノか!

「RX-78……
ガンダム……」

ガンダム試作機
史上初のMS戦!

連邦の開発した新型モビルスーツ「ガンダム」の威力は、
オンのザクを圧倒した。その機動力、機動力、耐久性は
連邦機他の戦闘で変える可能性を秘めている。

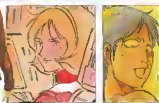
戦場の青春群像

ある日突然、戦争に巻き込まれる若者達。自らの命を守る為に武器を取り、戦争の恐怖に怯え、苦悩する。それでも彼らは戦いを遂げて兵士となり、別れを通して大人になっていく。

生き残る為に

武器を取った若者たち

出会い



苦悩

何の為に戦うのか



成長

ライバルと仲間が存在が
彼らを兵士にさせていく



安らぎ

わずかな心の癒しを求めて



慟哭

共に戦う
友との別れ



黙祷を
ささげるう!!



漆黒の重MS
ドム



こいつとは
またの
勝負だ!!



オルテガ
下がるぞ!

旧ザク

更なる進化を重ねる
水中型MS



アッガイ



ズゴック

そして、再び……
赤い「奴」が
帰ってきた……

戦争に負けた
機動力

ザク

その赤いザクには
きみは勝てない!!

シャア専用ザク

その赤いザクは
火がやい
最強の機動力だ!



究極の名勝負!!

ズブ

ジオンの開発力

運命はるかに決つた。ジオンの開発力、初の人間開発機、ザクはそれまでの戦争スタイルを一変させた。この戦争も運命を握る戦い、スライダが戦場に現れ、戦いが始まる。

ライバルとの戦いを通し
少年は戦士へと覚醒する

かほ？

あんな

ランバ・ラル

カラムの力を削ぐために戦艦やビルスーツ、ダブでカンダムに挑む。地下からの人望も厚く、ゲリラ戦を得意とする魔城の兵。赤い髪が特徴。名前に「道」

時代が
雲々た
ようだ

 $\frac{4}{5} \times 100 = 80\%$

1000

100

1

**あの人に
勝ちたい!**

黒い三連星 ガイア/マッシュ/オルテガ

過去にいた4人組をも倒したファイアをリーダーとする精鋭部隊。ホバーによって運送移動可能な下駄を備え、ガンダムと三位一体の攻撃を仕掛ける。

もうひとつ
用心を欠いた
のかも
しれん……

悔^くつていた
とは思^{おも}わん
が……

シャア・アズナブル

「赤い彗星」の異名を持つジオン軍エースパイロット。指揮官としても卓越した洞察力を持ち、運轉のV作戦も果敢に挑んだ。

見せてもらおうか
連邦軍の新MSの
性能とやうな

見せてもらおうか



ガルマ・ザビ

ザビ家の本拠。地球方面軍司令部でホワイ・マ・マ・マの命令を受けつつ、自らドリズでは果敢する。シャアとは士官学校の同級生。

栄光
あれぞ

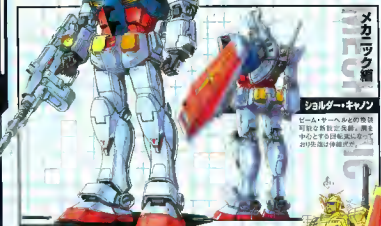
公国

アムロの前に立ちはだかる

ホワイ・ベースとガソダムを繋ぐジョーンズから
ての猛者達。彼らとの度合いは圧倒的な違いが
アムロ・レイの能力を次第に覚悟させていく。

NEW DESIGN OF GUNDAM THE ORIGIN

新しく作られた設定



メカニク編

ショルダー・キャノン

ゼム・サーヘルとの戦いで
可能な新設定兵器。機体
中心とする近接戦に
対応した伸縮式。

ガンダム

新兵器がタイドに搭載された新型モビルスーツ。右肩の関節式がバリエーション・ライフル等にも新しい設定が施され、機体にもあみだている。

ガンダム試作1号機

開発テスト用に作られた機体。武装が限られ、機体構造も未完成であった。地上初回のモビルスーツ同士の戦闘を遂行したことになる。

ガンタンク



ガンタンクは、地上戦に特化された機体。より強力な武装と、全周を覆う装甲により、地上戦に特化した機体。より強力な武装と、全周を覆う装甲により、地上戦に特化した機体。

ガンキャノン



両肩のキャノンが特徴的な機体。作品内では本気でゼム・ライフルを固定している。

メカニクスデザイン 大河原邦男

海外と異なるデザインも多かった。25年前に描いた設定画を引っ張り出し、さらに書き加えた。デザインのイメージが異なる機体に描かれたのは嬉しい限りです。

「ジ・オリジン」後に新たに設定されたキャラクターとメカニクスデザイン。アニメ版ガンダム同様にキャラクターは安彦良和がメカニクスは大河原邦男がデザインを担当した。

フラウ・ボウ

サイコロの目に似て、可愛らしいデザイン。フラウ・ボウは、サイコロの目に似て、可愛らしいデザイン。フラウ・ボウは、サイコロの目に似て、可愛らしいデザイン。



アムロ・レイ

本編の初期モビルスーツ・ガンダムに乗りこえる主人公。アムロ・レイは、本編の初期モビルスーツ・ガンダムに乗りこえる主人公。



キャラクター編



セイラ・マス

「ジ・オリジン」本編では初登場で、黄の足であるシャアに魅せられた。ここではアニメ版同様、私生活で描かれている。貴重な設定である。

ブライト・ノア

ホワイトベースを指揮することになる。シャア・アズナブルの「ジ・オリジン」の中で、シャアに戦いを挑む。シャアとの戦いが、重要なポイントになる。



シャア・アズナブル

ホワイトベースとガンダムの戦いの前、シャアのノー・マウス・アムロ・レイの戦いの前、シャアのノー・マウス・アムロ・レイの戦いの前、シャアのノー・マウス・アムロ・レイの戦いの前。

キャラクターデザイン 安彦良和

描き始める前に入っていた人。シャア・アズナブルのデザイン。シャア・アズナブルのデザイン。シャア・アズナブルのデザイン。





「機動戦士ガンダム」を安彦良和が漫画で描く——
ファンであれば、誰もが一度は考えたであろう壮大な夢。
それは「ガンダム」というパズルに残された大きな1ピースであった。

2001年6月——

突如その夢は「機動戦士ガンダム THE ORIGIN」という
名で我々の前に現れた。

外伝でも続編でもない、あの「機動戦士ガンダム」が
安彦良和の手により再生されたのだ。
それは疑い様のない「本物」であり、
四半世紀の時を越え、新たな感動を与えてくれる力に満ちていた。

あれから3年—— 物語は今中盤を迎えようとしている。
我々はこの作品を読める奇跡を噛み締めなければならない。



世界で読まれる「THE ORIGIN」

台湾版「ガンダムエース」



台湾・韓国版コミックス



北米版コミックス



イタリア・スペイン・フランス・タイ……
世界各国に続々進出予定

キャラクターガイド

CHARACTER GUIDE



連邦編

CONTENTS 目次

V作戦始動	002
戦場の青春群像	004
ジオンの開発力	006
歴戦の勇者	008
新しく作られた設定	010
ジ・オリジン キャラリ	012
世界で読まれる ジ・オリジン	016

キャラクターガイド 連邦編	019
ジオン編	051

メカニックガイド 連邦編	073
ジオン編	089
大河原邦男インタビュー	107

ストーリーガイド	
始動編	109
オリジンワイド①V作戦特集	
激闘編	117
オリジンワイド②ジオンのおやし特集	
ガルマ編	125
オリジンワイド③ガルマの愛特集	
ランバ・ラル編	136
オリジンワイド④ラル家とダイタン家特集	
ジャブロー編	147
オリジンワイド⑤今後の展開特集	
ホワイトベース航路編	156
オリジンのこころ	158

メイキング オフ ジ・オリジン	165
安彦先生の仕事場におじゃましました	168
ジ・オリジン制作日記	167
ネームでわかる「安彦タッチ」の裏で	168
安彦良和インタビュー	171

海外版ジ・オリジン紹介	176
「漫画家」安彦良和の世界	180
驚きと期待に満ちた「超選」の再生	182
特別贈り物「その前夜」	185

機動戦士ガンダム
THE ORIGIN
公式ガイドブック

美術本解説	50
音楽解説	72
北爪宏幸	88
幸村誠	155
トニー	

戦いの中で
覚醒する少年



アムロ・レイ

AMURO
RAY

地球生まれのコロニー育ちの少年。パソコンいじりが好きで戦争とは無縁の生活をしていたがシャア率いるザク部隊との戦闘の中で偶然にも連邦軍の最高機密RX-78ガンダムに乗り込むことになる。

戦いが少年を
無理矢理、
大人にしてい



▶ ガールフレンドのフラウ。そして両親。戦火はアムロを奪え、周囲の人々の運命をも奪える。フラウは共に戦う運を遂げ、父とは寂しい決別が待っていた。



父さんは
この人
たちより
モビルスーツの
ほうが大事
なんですわ



▲ 迫るジオンのザク。轟く砲火。薄暗いコクピットの中で、緊張と高揚感がアムロを包む。圧倒的な力を秘めた兵器と天賦の才能が、今、戦場で邂逅する……。

連邦軍の「白いヤン」を
駆る未完成な器

メカ好きで機械少年だったアムロ。偶然なにやら運命に導かれることになった。狭い戦いの中で彼の心はゆえの戦い。戦い、戦い、未熟さが浮き彫りになっていく。その生々しい、入り組んだアイデンティティーの歪みこそが、彼の最大の個性でもある。その後果たされる際敵シャアとの出会い。そして敵将ランバラルとの邂逅。戦いは常に波に問いかける。力ある者の責任、引き金を引く決断。そして人の命を奪うその重さを。戦いたくはなかった。殺したくはなかった。兵士になりたい訳でもなかった。だが戦場にあげた口実は、自分たちは守るべきという単純明快なルールだけ。やがて、亡くなった少年は、戦火の中で世界を知り、仲間を知り、そして、己の秘めた力の意味を知る。己の力を秘めた少年は、自らを更なる高みへと昇進させていくことになる……。



認められたい相手

◀ガンダムと共に逃げ出した砂漠の街で、偶然にも言葉交した敵対、脱走の戦士、ジオンのランバ・ラルの余裕と器の大きさは、アムロに強い印象を残す。

▼やがて訪れる補給部隊のマチルダとの出会い。だが、容赦のない戦場の現実が、アムロの深い愁心を打ち砕く。命を救うマチルダの幼影が脳裏をよぎった時、アムロの中で何かが目覚める。



戦火の中の恋心……



◀ジャブローでの身体検査後、研究員たちに検査を受けるアムロ。「ニュータイプ」とは、人類に希望と悲しみを同時にもたらす、新しい概念……。

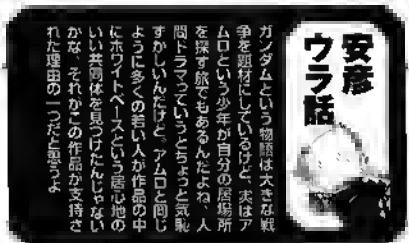
「僕がいちばんうまくガンダムをつかえるんだ」



▶これまで誰も自分を誇めたことはなく、挫折すら知らなかった。敵艦はアムロが初めて他人と、そして現実と向き合う場所として、慈然と存在した。



▶戦いを経て、少しずつ強まるクルーたちの絆。アムロも次第にプライドのことを理解し始める。といっても時々、スネてみせたりもするが……。



安彦ウラハ

ガンダムという物語は大きな戦争を題材にしているけど、実はアムロという少年が自分の居場所を探す旅でもあるんだよ。人間、下で生きていこうとすると、自然と多くの若い人が作品の中にホワット・ヘイ・スという感情のいい共通体を見つけたんじゃないかな。それだけの作品が支持された理由の一つだと思うよ。

本名アルティシア・ソム・ダイクン。医療ボランティアとしてWBに乗り組んだが、後に正規のクルーとしてブリッジで活躍することに。ジョンの赤い髪男シャア・アズナブルは、彼女の美兄である。

SA
MASS

なんだ？

『兄さん……』

▶ 高まる憤かしき兄への想いは、セイラを軍規を犯す悪行にすら走らせる。互いに利用しあったコズンは脱走に失敗し、彼女の目の前で命を落とすことに……。

▲高貴な出自と秘めたる疑は、ミステリアスなヒロインの条件。バカンス先でも、サン Blas 姿でビシリ。うーん決まってます、我がセイラさん！

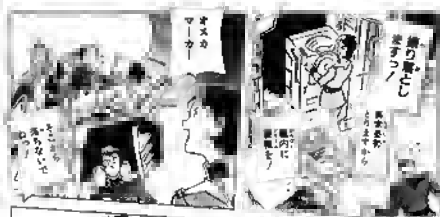
▼強男のベッドで一人流す涙は、大切な人の無事を知った安堵から。楽しかった頃の記憶はいつでも、兄の優しさとその声のゆくもりに満ちている。

美しき名家の姫君
その名はアルティシア

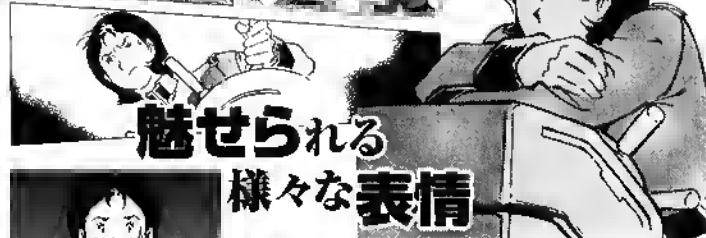
[illegible]

「言うとおりに
しないと
撃ちます」





▼WBの舵を揺るがせる女性。ミライ、役割柄、緊張感に溢れたキリリとした表情が多いが、戦いの中、ふとした隙子に見せる女性としての跡も見逃せないところ。



▶名家の出身である彼女は、真面目なプライドとは裏腹に、父娘を敵火で亡くした傷を、密かに心に秘めている健康な一面も。



『女のわたしに 後を継がせたかったらしいけど……』

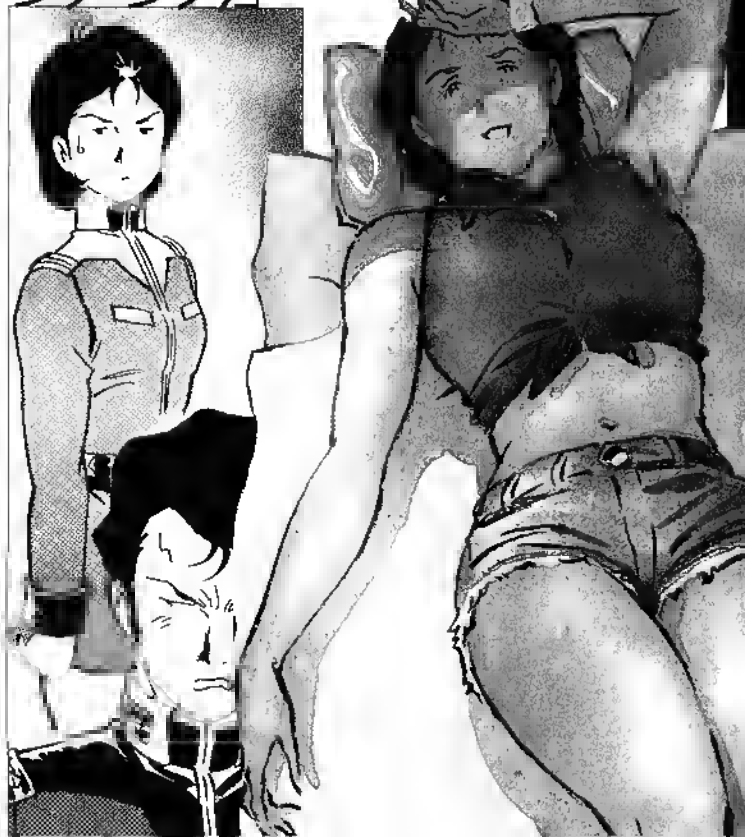
頼もしい操舵手にして
ブライトの女房役

宇宙移民で財を築いた成功者の一族に育ったミライ、忍耐強く穏やかな性格、深い母性を感じさせる。また、アムロの勝手な行動をしばしば制止して戦いの中でも気配りを忘れない細やかさは、彼女の大きな長所の一つ。彼女の出会いは、WBにとっても大きな幸運の一つだったのだ。

MIRAI YASHIMA ミライ・ヤシマ

沈着なるリアリスト

WBの操舵手を務める女性士官にして、ブライトのよき相談相手。最初は民間人としてWBに搭乗したが、後にクルーに。冷静な判断と適切な助言で、たびたび戦いに貢献する。



フラウ・ボウ

アムロのガールフレンドで、彼と共に偶然WBに乗り込む。世話焼きで活発な少女だが、年頃らしい繊細さや感情的な部分もあわせ持っている。WBでは見習兵として子供たちの面倒を見たり、雑事一般を担当する。

少女は戦火の中、
女の表情を浮かべる

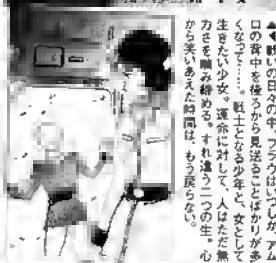


WBの マスコット

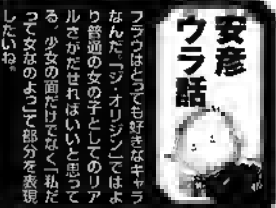
▼才能を示し始めるアムロに対し、「ご近所の女の子」としての親しみやすさを失わない少女。チビっ子3人組の母親役もつかりこなす。



◀戦場の辛さに耐えかねて涙を流す一瞬の清涼剤っぶりでもいいけれど、久しぶりの体癖でのぞく無邪気な顔もなかなか。弾ける健康的なお色気は、彼女ならでは?



▲4戦目の田々の夜、フラウはいつしかアムロの背中を後ろから見送る。とばかりが多くなる。……戦士になる少年と、女として生きたい少女。運命に対して、人はただ無力さを振り解く。それと違う二つの生。心から笑った瞬間は、も戻らない。



フラウはとてつもない大きなギャラなんだ「ジョー・オリビ」ではより綺麗なお女の子としてのリアルさかたはいいと思うてる。少女の面だけなく「私だっ」って女なのよって部分を表現したいわ。



どいどん
私からはなれて
いそやうのね...アムロ





ハヤト・コバヤシ

アムロ、フラウの同級生で、ガンタンクに搭乗する。小柄で優しく、精神的な弱さはあるが、人一倍の責任感と優れた柔道の技を身につけている少年だ。



感情に 素直に

「フラウに好意を寄せている彼は、サイド7時代からアムロのことをライバル視している。その感情の発露も素直で、実に少年らしい。」



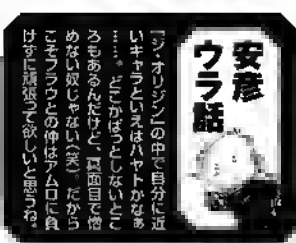
▲ガンタンクの砲手に志願したのは、責任感とアムロへのライバル心から。負けん気はかなり強い。

◀物語上はアムロの陰に隠れがち。様々な後回りも多いが、リュウの戦死直後のアムロとの盛り合いは、彼の純真さを示す好エピソードである。



柔よく剛を制す

◀「普段は平凡な少年だが、柔道は大得意。リュウやシオン共々も軽々と投げ飛ばす。やはり日米の血を引くゆえだろうか？」



軟弱ひねくれ物？
それとも
ニヒルなヒーロー？

カイ・シデン

アムロに次ぐパイロットとして、ガンキャノンその他の操縦を務める。お調子者かつ皮肉屋で、いい加減な言動が目立つが、それは己の弱さを隠す方便でもある。セイラには頭が上がらない。

KAI
SHIDEN



▲元レーサーということもあり、MSの操縦技術はなかなかのもの。熱い乗ればかなりの戦力なのだが、過信ゆえの失敗もしょっちゅう……。



お調子者は
ポーズ!?



▲内心は繊細なうえに、何事も軽く受け流すツリをするのが彼のスタンス。だが時に容赦のない現実が、彼の脆さを露わにする。



『ふきになることないだろ』



心も体も懐深き
ホワイトベースの兄貴分

リュウ・ホセイ

WBの搭乗員の中では、生粋の連邦軍人だった一人。いかつい体に勇気と根性を持ちあわせた豪快な男で、アムロやハヤトの先輩として、大きな心の支えになっていた。後にWBを飛ばして戦死する。



WBの頼れる
兄貴分



▲ブライトとは少し違う、大きな骨中。同じ戦場で戦列にさらされる兵士として、怒りも喜びも共に感じられる彼は、未熟な少年たちに、かけがえのない存在だった。

「へへ…おかしいだろ」

▲傷も癒えぬ間に、危機を察した彼は再び戦場へ赴き、そして……。彼の熱き魂はアムロ、ハヤト、そしてWBの乗員たちの心に刻まれていく。





補給部隊の女神



▲破壊ばかりが続く戦争の中で、少しでも生産的な任務をと、補給部隊を志願した彼女。アムロの胸の傷跡は、その情眼に落着く決意と使命感の美しさに、いっそう強まる。



▲ガンダムを操縦したマチルダを、悲劇が襲う。無残に散った少年の初恋と、美しい人の命……。惜しい、惜しい、オルテガのドム!



▲瀧とした雲間を漂わせながら、アムロを「さみ」と呼ぶお姉サマが。

「あなたは
エスパーかもしれない」



▶ ついに果たされることになった。ワッティ大尉との結婚。純白のヴェール、幸せいっっぱいの笑顔、今は幻となった花嫁姿が、ただ美しい。



戦場に散った 憧れの人

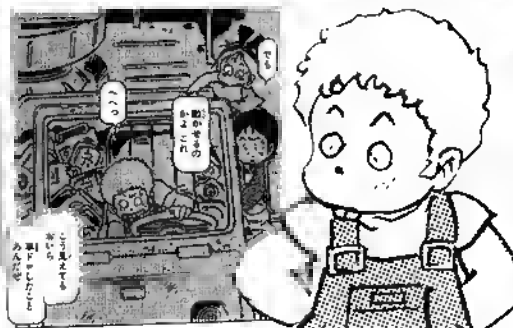
MATILDA ADJAN

マチルダ・アジャン

WBの前に現われた補給部隊の女性指揮官。優しい言動とその美貌で、若い乗員たちのアイドル的存在となる。アムロも彼女に恋心を抱くが、やがて彼女はドムの攻撃を受け、乗機のメディアとともども戦いに散る。

いざとなると冷静な 三人組のお兄さん

本名はカツ・ハウィン。三人組の中では最年長。みんなと一緒にいる時はイタズラもするが、本来はとても優しい少年で、ジャブローでの爆弾処理の際には状況を落ち着いて説明するなどの冷静さがかい間みせた。



意外な過去を持つ ワンパク店主

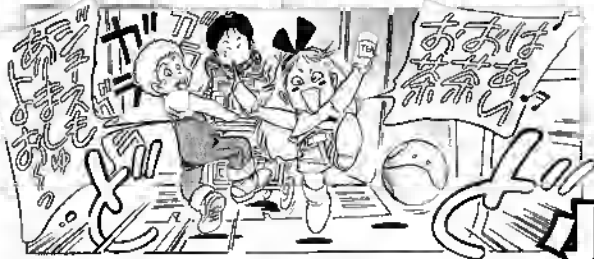
本名はレッツ・コ・ファン。その性格はやんちゃでワンパク、WB乗船後は常にカツ、キッカと行動を共にする。ジャブローでは車両の盗難、運転というちょっとイケナイ特技を見せる(もちろん無免許)。

紅一点は最年少の怖い物知らず!!

いつも元気いっぱい WBのマスコットの存在の女のコ。物おじしない性格で、WBにラル隊が突入しようとした時も、ひとりブリッジを守ろうとした。本名はキッカ・キタモト。



ジャブローは彼らによって救われた……



カツ・レッツ・キッカ

サイド7からの避難民として、WBに乗船した元気いっぱいの三人組。ふだんは食事の配給などの船内の仕事も積極的に手伝っている。ジャブローでは逃亡中に、ジオンの破壊工作を発見して危地を救った。

クルーを勇気づける
小さな戦士たち

戦うべきでえす!!



シヤアを

ジオンの猛威を察知する 二人の守護神

オスカ・ダブリン(左)
& マーカー・クラン(右)



当初からWBのオペレーターを勤める二人。主にオスカが航路の分析や地形の判断。マーカーが敵機の確認や、戦況の判断を担当。かなりの緊張を強いられる任務だが「ここ(座席)がいちばん休まる」とはマーカーの弁。

タムラ WBを影で 支える功労者



WBの食堂を担当するコック長。避難民やパイロット用など様々な献立を作り分けている。

心優しき 看護兵 マサキ

正規の訓練を受けた看護兵で、非番の日には避難民の部屋を掃除するなど優しい一面を持つ女性。

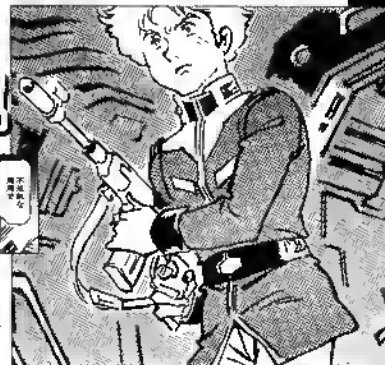


あなただけのお名前
何ていうの？



あなただけのお名前
何ていうの？

ガンキャノン操る 金髪の訓練生



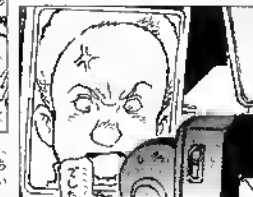
▲訓練兵という立場や年齢の近さから、アムロなど戦時任務された兵と、正規兵との構造的な性格もみなすナイスガイ。



ジョブ・ジョン

初航行よりWBに乗船していた連邦軍のパイロット訓練生。ブライト艦長によればすでにガンダムを操縦できるだけの訓練をつんでいるという。

MS隊をバックアップする メカマン



▲プロの整備士オムルたちは、故障が多いWBのMS隊もとりきりバックアップ。ただウチの多いカにはキレたことも……

オムル・ハング

正規兵のメカマンで、実務にあたる整備兵の中心的人物。整備の正確さを始め、緊急時の判断力や応用力に優れ、艦内の信頼は高い。





一兵士として死んだ 老練の初代WB艦長

パオロ・カシアス

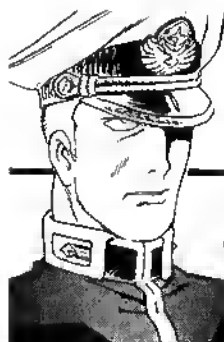
新造艦WBを地球からサイド7まで運出した初代艦長。ジャアのサイド7強襲の際には、自身が艦艇を操り防戦するが、その折の負傷が原因でルナツーにて死亡。



出られない
ものかね

世紀の演説で 連邦を鼓舞させた総司令官

連邦軍大將にして総司令官。休戦を目的とした南極条約締結の席で演説をうち、降伏ムードが漂っていた連邦軍に徹底抗戦を決意させた。「V作戦」の最高責任者でもある。



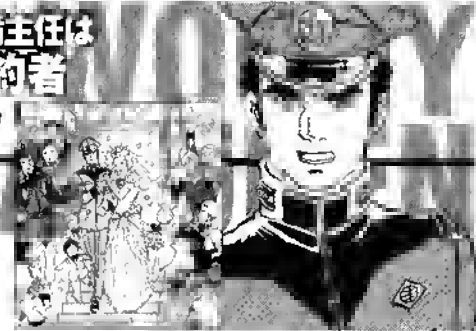
規律と秩序を重んじる ルナツー司令官 ワグゲイン



連邦軍最大の宇宙基地ルナツーを統括する立場にある彼は、許可なく自分の空域でジオンと交戦したWBクルーを処罰する。彼の教官であったパオロによれば優秀だが、思考に柔軟性を欠くタイプとのこと。

誇り高き整備主任は マチルダの婚約者 ウッディ・マルデン

WBを宇宙戦艦に改造するバックアップチームの主任。器厚な性格だが、兵士としておこっていたアムロを認める気丈な面も持つ。マチルダとはWBのジャブロー到着直後に挙式する予定であった。



WBを掌握できなかった 皮肉屋の悲観主義者 リード



自身の船が破損し、WBに同乗することになった連邦軍士官。その時点で艦内でもっとも官位が高かったが、士気の低下を促す言動や、その性格ゆえ人望が集まらず、指揮をとることはなかった。



歩きはじめた息子に 母はひとり残されて

▶ 離れて過ごした日々は、親子の行く道をはっきりと隔ててしまった。母がいなければ何もできなかった少年は、両親より仲間がいる船WBへの道を選び、飛び去っていく。住み慣れた地を離れられず、ひとり残された母にできることは、ただ泣き崩れることだけだった。



母は変わらなさすぎた あまりにも.....

KAMARIA RAY カマリア・レイ

アムロ・レイの母にして、テム・レイの妻。地球での生活を捨てず、アムロが幼少の頃に二人と別れる。現在も当時と同じメキシコのロサリトに住み、難民キャンプでボランティア活動をしている。



何より技術を 信じた男 テム・レイ

表向きは建設中のコロニー、サイド7の工事責任者だが、実際は連邦軍の新型MS開発に深く関わっていた人物で、アムロ・レイの父。サイド7で起きたガンダムとザクの戦いに巻き込まれ行方不明に。

「父さんはこの人だらけより MSの方が大事なんですか」

モビルスーツ

▶ サイド7にザクが侵入した際、佐川の避難よりガンダムの運搬を優先させた父にアムロが発した言葉。父は人の命を軽んじていたのではなく、ガンダムの量産化が遅れて、犠牲者が増えることを怖れていたのだが、息子には通じなかった。



妻より研究者の道を選んだあの日

▶ 家族との時間より、仕事を選んだテム・レイは、妻カマリア・レイとの別居を決意する。スペースコロニーの建設は、科学技術を優先する道にとって、それに値するものであった。この後も仕事中心の生活を送り、息子と顔を合わせることも少ないが、息子の写真は常に持ち歩いているようだ。



HARO



おもちゃじゃなくて

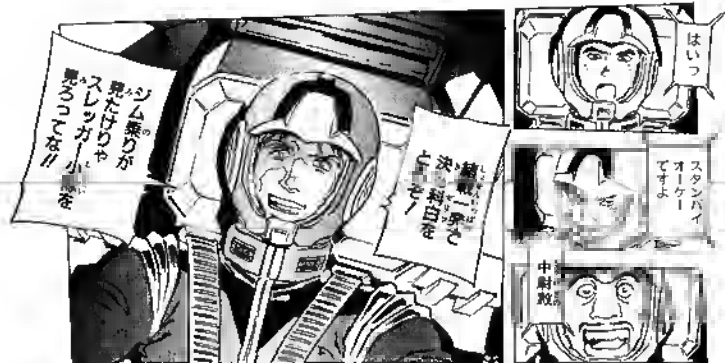
おともだちなのね？

そうなんです
犬事な……

連邦軍大將にもこの通り

ハロ

アムロがフラウ・ポウへのプレゼント用に制作したベットロボット。簡単な類似会話と回転・跳躍。耳部のはばきによる自立運動が可能。WB乗船後はカウ・レツ・キッカといることが多い。



連邦一の伊達男、GM小隊を率いる！

これが
スレッガー小隊だ

ド・ザ・ビートルに敵が侵入しているにもかかわらず、不意な態度のスレッガー。機体であるジムの機体には隊独自のマークが見える。



スレッガー・ロウ
&スレッガー小隊



多くのパイロットを失ったWBに補充されるのが、スレッガー・ロウと彼が率いるスレッガー小隊だ。隊員はエトワール、ウォン、ミッチの三人。全員がMSでの実戦経験を持つことから、多大な貢献が期待されている。



WBに配備される時、スレッガーたちはガンキャノンに選んでたんじゃないかと思ってたんだけど、アムロだとか飛行機乗りで選んだから、最初はデラ・フライトなんだけど、一服かガンキャノンをスレッガーにしない、ジムには選んでないだろうし、だからシャッブロー前の運動作戦、あれに参加していた、とかね。

そもそも何で今回スレッガーをジムに集めるのかというと、アムロとの比較のためなんですよ。いまはガンダムだけだからアムロがすごいのか、機体が腐れていくのか、連邦軍の上層部は判断がつかないはずなんです。

そこで直達隊であるジムと、戦いが好きなスレッガーが集めて戦うことで、初めてアムロ自身のすべからず、そういう狙いなんですよ。

安彦
ウラハ





ジオン編

キャラクターガイド

CHARACTER GUIDE



寺号地能さるていりたさるります。

いつも人の3倍、いやそれ以上の力で紡ぎ出される作品の
数々には舌を巻くばかりです。

今回のTHE ORIGINでは、20数年前のガンダム以来螺旋階
段のように色々な作品を経てさらに高い所へ登られたかのよう
な感じで、一歩進んとしてとてもうれしく思います。

ただ、編集部が安彦先生の仕事ぶりを何かにつけ引き合いに
だすのには少々困りますが(笑)。

これからもお身体を大切にしつつ、後進の描き手の大きな目
標であり続けてください。

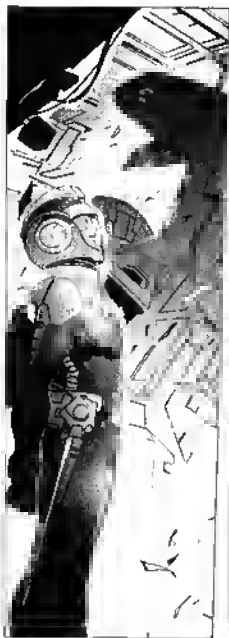
美樹本晴彦 HARUHIKO MIKIMOTO

PROFILE

イラストレーター、キャラクターデザイナー、漫画家。「超時空要塞マクロス」「メガゾーン23」「トップをねらえ!」「機
動戦士ガンダム0080 ポケットの中の戦争」等の人気作、話題作のキャラクターデザインを数多く手掛け、それま
での作品に見られなかった洗練されたキャラクター造形で注目を浴びる。現在はイラスト、漫画連載、キャラクター
デザインなど幅広く活動している。月刊ガンダムエースにて「機動戦士ガンダム エコールデュ・シエル」を連載中。

▶ ガンダムの出現によりザクラー機小隊を失ったシャア。その口から漏れた言葉は自衛とも取れる。「認めたくないものだな……」。悪夢はその胸に、嫌に刻まれた。

▶ ワイングラスを片手に、バーティに出席。例え不祥と言われようと、愛用のマスクは外せない。重やかな重の下でうごめく無数の悪意を冷たく眺め、彼はそのマスクの下で、いったい何を感じるのか。



戦いの ペルソナ 揺れる心を隠す

◀ 時には自ら敢死地に潜入する。大胆な行動も。WBを脱げる横顔に浮かぶ微笑は、この男の不敵さと自信の現われである。

シャアの前に人なく、その後にもまたなし、宇宙庭で赤いザクを駆り、アムロに戦いの恐怖を知らしめたシャア。卓越した才を示しつつも、その目的は何よりも、まずザビ家への復讐であった。口入でカルマを殺害し、次に身をおもわねのは女将軍キシリア。己の目的のため、シャアは己の能力を、中を駆ける復讐劇は、壮絶さを超え、美しくさえある。だが、時代は彼に準はる。復讐者としての道を歩むには、強い巨大量才能は我知らず、好敵手たるアムロや家族のセイフなど、人々を大きな運命の渦に巻き込んでいく。

『高い代償を 払わせてやる』

▼ WBの手ごわさを感じ、不意に自らの肩たるガルマへの侮辱を喰く。復讐は続く。ガルマの無二の親友の親、有能な将官の妹、冷酷な復讐者の妹、そしてアルティニアの兄・キャスバルとしての顔も……



ふふ……

食えない奴等、だからな！
あの木馬のクルーは

うちの坊やとは
えらい違いだ！



シャア・アズナブル

通称。赤い彗星のシャア。ジオン最高の賞れ高きMSパイロットにして、アムロの前に立ちはたかる最強無比の宿敵。常に仮面で素顔を隠すのは、ダイクン家の血を引く出自から。ザビ家への復讐を胸に秘め、政治的手腕、用兵術にも長けた天才である。

昏い激情を 仮面の下に隠す男



孤高の策士

ジャブローの攻略口 私のカードは



▲厳しい面影を平然と切り抜け、最後の豪快は愛用のサングラス。事柄ここに様なる!

▲その快活さすらも、謎のうちに、その面影の下は、密かにガルマの愚かさを嘲笑する。



仮面の下から 垣間見える 素顔

▲深紅の機体は、シャアのシンボル。通常の三倍の性能を誇る専用ザクとルウム戦役での圧倒的な戦功は、赤い髭髯の名を同盟に知らしめた。



▲肉体美すらもパーフェクトな男、だがそのファンサードビスすら、もしやこの男の冷徹な戦術のうしろめ。

安彦 ウラ恬



シャアはやっぱり顔の多い奴だね「お兄様うたたら向えてるもんの?」っていう(笑) シャアが何を言っているのかよくわからないのは、彼の考えの持ち主、サビ軍との関係や父であるジオン・ダイクンの考えが明らかになっていない部分が多いからなんだよね(フ) オリンピックではうた、そいつの部分も明らかにしていきたいんだ

▶ 素直に本音を語るガルマの態度に、会心の笑みを浮かべる。無邪気な心に食い込んだ服の口。まさに悪の軍、ぞくりとするほど悪いオトコだ、シャア!



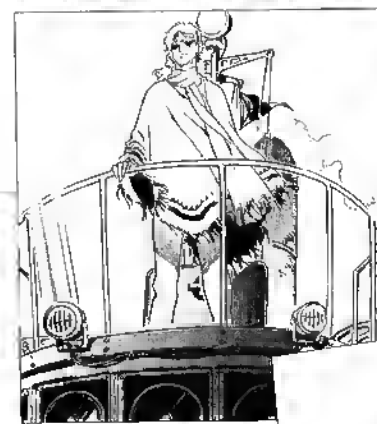
▲ カラスの名もなき道場にて、ギレンの秘伝を聴きながらザク。この名ゼリフ、文字にしてたった8文字、だが平凡な男の平凡な人生ならば、聴けることすら、そうないはずだ。

坊や

だから
き...

『坊や...だからさ』

▼ 運命がたぐり寄せた、ルナツー基地での兄妹の再会。キャスバルとアルテイシア。その時、かつての兄妹は、すでに互いに違う軍服を身に付け、互いに別の名前を持っていた



▲ 宇宙では連邦と戦い、ロスではガルマを陥れ、さらに戦いの合間には、密林の底と戦交を深める。ジャブローの機密を知り得たのは、その精鋭部隊がいてこそ。まさに神出鬼没の活躍だ。

ふと口をつく名ゼリフ その男、シャア

シャアといえば、「口」肉肉めいた容姿から目録の言葉まで、数々の名ゼリフを持つ男だ。高い精神性と独断の美姿から生まれるそのゼリフを、キザというふかれ、それはもはや言葉で表すことができない。迫力を放つ、聴く者の心に響く。



育ちの良さが
人を素直に信じさせた…



▲ロスの南島の娘、イセリナとの恋は戦場に咲いた花。同じ上流階級に生きる貴族士。互いの繊細さに惹かれた仲だった。だが繊細さと戦場の厳しさは、根本的に相容れないもの。優美な恋は、ガルマ戦死の一報で壊れた。哀れをもよおす戦場のエピソードである。



▲どんな家系に生まれても、持って生まれた本質はどうしようもないのが人間というもの。大まか差れた前髪をいじる癖は、ガルマの神経質さとロマンチスト気質の現われだ。



▲幼稚なプライドと功名心は、容易に焦りにつながる。だがそれを見透かした友のたしなめは、それすらもガルマを破滅に導く計略のうちだった。己の心理すら軍に操られたガルマにシャアの裏が迫る。

『笑うなよ
兵が見ている』

甘さで破滅を招いた
悲劇の貴公子
ロスに魅せられるジオン軍地球
方面軍司令部にあるガルマ
だが彼は砲声もなく戦場で、恋
にどうしようもなく惹き付け
られたロマンチストだった。最
後はシャアに誘われ、男気迫る
特攻も、ついに笑えるとはなな
った。いい詩人になろうとした
男だったかも知れない



ガルマ・ザビ

ザビ家の三男にして、名門の實力者エリート。親の威光に頼ることを嫌い、飛行空母ガウと共に前線に突っ。だが愛されて育ったゆえに人の心の闇を知らず、シャアに欺かれて戦死する。

ザビ家の良心に
なりえた男……

『この匂いこそ戦場よ』



戦いに
赴く男の
表情

▲戦いに敗れた軍人にとって、最も大切なのは覚悟と涙だ。最愛のハモンの存在も、彼の信念を揺るがすことはない。



▲砂漠の町で偶然出会った好戦者2人、少年の気概が、原野の彼には小気味よい。だが、運命はこの邂逅に皮肉な結末を用意していた。

▲爽快な笑いは大団円の証。「ラルおやじ」の稱もしさとダンディズムは男の慣れだ。もちろん、ハモンさんみたいな愛人もセットで!

▼降り立った戦場では、硝煙の匂いが彼を迎えた。今まで己を淬磨してきたザビ家の命令とはいえ、戦いこそが軍人の本質。高まる気持ちを抑え、ジオンの猛将は、現われた若き好戦手に挑む。



▲WBのMS隊は、ランバ・ラルの颯るグフにより機体寸前に……。だがモニター越しにも感じる敵の手ごたえのなさは、どこか彼を前立させる。

時代の変遷を告げた
ジオンの青い巨星
ランバ・ラルを受けてきたのは、軍人の誇り。だがこそ己の敗北を悟った時、彼は多くを語らない。歴戦の古強者が、若い才能と運命の前に敗れたのだ。結局は「たつ」己の手で誇りを切り切った最後は、哀しくも鮮烈な降参を放つ。

RAIMBA



似合っていると思う

このほうが

ランバ・ラル

ジオン軍古参の猛将。ダイクン家への忠義心が疎まれ、ザビ家に冷遇されていた。MSグフを自在に操り、百戦錬磨の用兵術は重厚そのもの。人としての器も大きく、部下にも慕われていたが、戦いに敗れて自ら命を絶った。

時代の流れに
乗れなかった
忠義の古強者





▲当初はジャブロー攻陥の切り札として召集された黒い三連星。その実力はマ・クベをして「機甲一個師団にも語る」と言わしめる。



▲黒目の男マッシュ、巨漢のオルテガ、ヒゲ面の荒武者ガイア。血に飢えた狼のような眼光と、不敵な自信。実力も侮れないが、面構えの方も相当なコワモテぞう!!

『あの三連星をやれ!!』

▼ジオン鉄十字勲章は伊達じやない。リーダー格のガイアは受っぱさの中にも冷静な判断力を秘めた男だ。



プロの戦争屋



鉄壁のチームワークを誇る猛者たち
クスクスの間でアムロたちに語ったガイアの言葉は、戦場で黒い魔眼となって実現する。「ジェットストリーム・アタック」の猛攻は、三連星の面目躍如のハイライトだ。だが、アムロの一瞬のひらめきで形勢逆転。彼という天才と相対したのが彼らの不運だった。



黒い三連星



マッシュ・オルテガ・ガイア

MUSH

重MSドムを駆ってアムロとWBの前に立ちふさがるジオンのエースパイロット3人組。それぞれが歴戦の兵士であり、そのチームワークは無敵を誇る。ルウム戦役ではレビル将軍を捕虜にするなど、シャアと並んで数々の戦功を立てている。

ハモンへの秘めた想いを胸に

タチ

ジオン情報部に所属する士官。ハモンが計画するラルの復讐戦に参加。固に近い役割を率先して引き受けたのは、過去ハモンに対して何らかの想いを持っていたからだと言われている。



▲復讐戦のために、WBの連絡情報を探りつづけたタチだったが、それが彼に転機を左右することになる。



イザナ・エツエンバツ

ロス市長の娘にして、ガビ軍未だガ
ルマ・ザビの恋人。ジオンの占領下
にありながら裏でゲリラを率いる父
と、恋人の間では揺れ……

禁じられた愛を育む三人……

クラウレ・ハモン

猛将ランバ・ザルの情人。軍医ではない
が、時には地球上での旗艦であるギャロ
ップから、ラル隊の指揮をとることもあ
った。ラル隊の部下からもあつく信頼さ
れており、隊の母親的存在でもある。

愛に生き、愛に散った麗人

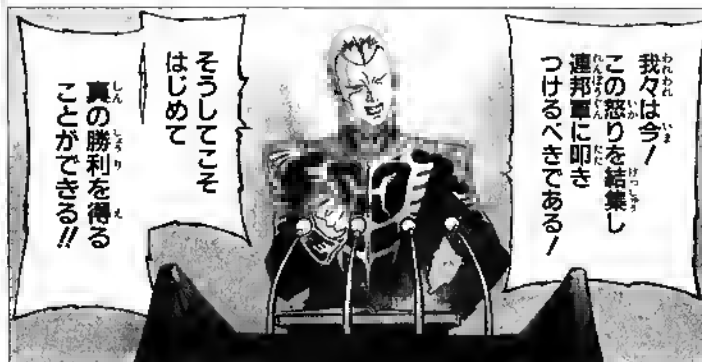


▲ランバ・ザルを討ったWB相手に、正しい武
器で無謀ともいえる攻撃を仕掛けようとするハ
モン。そこには計算や計算を超えた愛しいラン
バへの情が熱情が見てとれた。

つかの間の休息
帰らない日々

▲WBの追撃前夜、この任務に対する思いを
ラルに問うハモン。部下とハモンを慰めやっ
かその姿に満足した彼女は、その身を案じ
ながらも男のことを誇りに思うのだった。





民衆を扇動する 宇宙世紀のファシスト



▲アプテーションにおいてギレンはカリスマ性を有しており、宇宙移民は犠牲人類であると説き、多くの国民を煽動させた。

ギレン・ザビ

ザビ家の嫡男にしてジオン軍総帥。実父である公王デギンは実質上隠居しているため、軍政ともに指導者的立場にある。弟の死さえも国民の士気を高める材料として利用する非情さを持つ。悪性人類生存者の支持者。

マ・クベ

オデッサに基地を構えるジオン軍地球進軍総司令官。莫大な戦力を有し、地球上での作戦活動を統括するが、その立場ゆえ内部に敵も多い。



▲不遇なラルの境遇に同情する素振りを見せるが、遂に一転して一度は許可した量産機MSドムの補充を反故にするなど、真意の見えがちな行動をとることが多い。意味は偽善品の隠微。

地球進軍軍を担う 孤高の総司令官

不意に見せる意外な一面



ウラガン

マ・クベの副官。戦略、MSの輸送から将官の歓待まで幅広い任務についていて、様々な士官たちとの板挟みになることが多い。

上層部の思惑に翻弄され

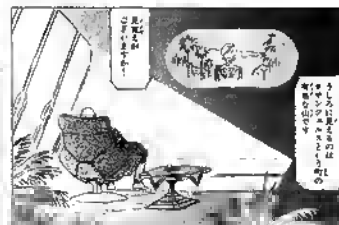


▲理不尽な命令も伝えなくてはならないつかい中間管理職的な立場にいる。ランバ・ラルとは特にウマが合わないのか、顔を合わせる度に冷や汗をかいていた。



我が子の死に
揺れる
ジオンの象徴

デギン・ザビ



ジオン公国国王。連年の祖であるジオン・ダイクンを暗殺して、その地位に立ったという計もある。公国の樹立後は英傑を子供たちに語り渡す。

公王として、父として…



▲末子ガルマの死は、戦争を介し多くの者を死に至らしめたジオン公国国王に、喪失感を味わわせるのに値するものであった。これ以降デギンは、戦争の是非について深く考えはしめる。

いまはただ思い出の中に



安彦
ウラ話

実はキヤウターデザン的に上手に描いたと思ってるのはデギンなんでしょうね。一見鬼のようだがつなげただけで、実は子煩悩のいいやつで感して。あとドズルもあの顔でカザの死に耐えて涙をこぼしたりとか。ああ、いいオッサンじゃないかと思っちゃいますかね。



私欲を捨て公国に尽くす
忠義の男



ドズル・ザビ

ガルマ第二の理解者

ソロモンを居城とするザビ家の次男。剛愎なその外見とは裏腹に、本国の防衛に心を砕き、末弟ガルマの死に心から涙する純粋な男である。

▲幾の七光り的な見られ方をしていたガルマの實力をドズルは誰よりも買っていた。将来的には自身の下に立ち補佐することさえ考えていたほどだ。



▲その風貌の性格上、外敵よりむしろ内部の人物から恐れられることが多く、その力を利用して軍内部に独自のコネクションを築きつつある。



味方さえ
震えあがらせる
公国の女傑

すべては公国の
栄華のためだけに

キシリア・ザビ

ザビ家の長女。ギレンの妹にしてドズルの姉にあたる。軍の規律保持については絶対的な権限を持ち、その裁定はギレンでさえ覆すことができない。

功をあせり、寝た虎を起こした張本人



JINE

ジーン

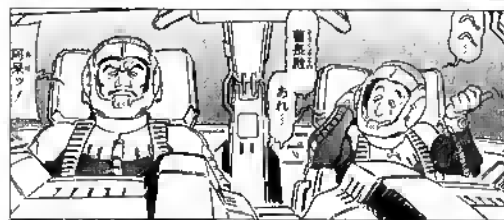
サイド7を偵察に来たザク隊の一員。敵の最高機密を目の前にした事から功を焦り、偵察の枠を超え暴走。ガンダムを破壊しようとする。

部下をおさえきれなかった代償は

あまりに大……

デニム

ジーンの上官。暴走するジーンを制止します。結果ガンダムにアムロが搭乗するきっかけを作り、自身もその犠牲となる。



戦災難民を助ける 心優しきジオン兵たち

バムロ(左) & コム(右)

ルグーン偵察機のパイロット(バムロ)と副パイロット(コム)。WBから下船した避難民に代わりの救命カプセルを譲り渡すという、戦時下における兵の優越となる行動を見せる。



ドレン

シャアの副官だが、一度除隊したシャアが軍に復帰した時も、部隊に召集されるなど、彼に対する信頼は非常に高く、その関係はまるで秘密や企てを共有する共犯者のようにも見える。

時には
シャアをも
超える情報力

シャアにガルマを訪ねた女性の真性を聞かれ、溜みなく答えるドレン。その情報収集能力は極めて高い。



御存知ですか？

イセリナ・エツシエンバハ



烈火のような 船艦指揮も

最前線に後方出陣することが多いシャアに代わり、船艦の指揮をとることも。命令を伝えるだけの副官とは異なり、戦況で部隊を率いるだけの能力はすでに備えている。

赤い彗星の 片腕



年齢を精神力でカバーする 武骨な職業軍人

ガDEM

バファ戦術総監。老練だが、MSの操縦にも長じていて、特に格闘戦では軍分けの存在。WBのMS隊に急襲を受けた際には、旧型機で互角に渡り合った。



やりくりしてさう

上の方がたも
それなりに
苦勞して

自称、不遇の名将 ざれど今、風はオレ向き!



シャアのもたらした情報が
ガルシアの運命を一変!



ガルシア・ロメオ

同僚であるマ・クベに激しいライバル意識を燃やすジャブロー攻撃軍司令官。部下や上層部からの支援に恵まれず、現在の地位に甘んじていると考えている彼にとって、ジャブロー攻撃は人生最大のチャンスなのだ。

安彦 ウラハ

最初はシオン軍のジャブロー攻撃にあたって、ちやうどキャラが少ないから、気軽に出したんだよね。そしてジャブロー編がまとったあつたくなって、ガルシアさんも出さないとあつた。でも、自分たちじゃない、良かったよね(笑)



ガルシアのモデル!? ガンダムエースの編集長 古林氏

ガンタムの歴史の一部に自分が登場できて(陣じやないけど)光栄です。別に出来の拙力を利用して、一画をだせと受けて、あれだけのものではありせん。でも、描き易いんだもん。とは安彦さん。それにしても、その人のことを覚えてますね。安彦さんは、師の性格や動きをまねてそっくりです。自分もあつたかないもう一人の自分がここにいらんてしょう



常在戦場の構えをもつ 百戦錬磨の兵士

コス・クラム

ラル隊に属する兵士。WBの捕虜となるが、平素より奥歯に仕込んであった通信機を使い、本隊に情報を送信、脱出を図る。脱出の際、WBのメカマン・オムルの機転により爆死。



ラルと共に戦場を 渡り歩くゲリラ戦のプロ クランプ



ランバ・ラルに厚い信頼を寄せているラル隊の副官。隊がWBに白兵戦を挑んだ際は、メイ・アブリッジの副官を担当。艦内に子供がいることに衝撃を受けたスキをつかれて殺戮される。

ジャブローへの突破口を開いた 特殊工作員その名は..... 赤鼻

アッガイを操り、ジャブローへの地下水路を駆け、文字通り突破口を開いたシオン軍兵士。潜入中にジムと接触、アッガイで攻撃を仕掛けるが、返り討ちにあい、MSごと爆死。





メカニクガイド

MECHANIC GUIDE

連邦編

21世紀は良い時代だ。その手による漫画で読めるガンダム物語。その手に再び逢えるなんて。同じ時代に生きていたらいいですね。それほどまでに私は「ガンダム」から影響を受けてまわっているのです。

当時小学生だった私は、ひたすら安彦さんの鉛筆の柔らかな線や「S字立ち」を模写する日々を過ごしていました。骨格、筋肉をしかりと持ちながら、柔らかなしなやかな身体。安彦キャラは、男性女性を問わず、少年の目にも艶やかで魅力的だったのです。

そうして「フギア」の原型を造るようになり、何時の日にも、真正面から安彦キャラに取り組みたい。そう思っていた私にとって、キャラクター誌誌上の「ポーターレイト・オブ・オリソン」の企画に参加でき、安彦さんに直接監督、指示をしていただけたのは、大変うれしきことです。

「オリソンのキャラクターは、頭から脚の爪先に至る美しい身体の流れと、強い腕の力を合わせ持ち、立っているだけで存在感があります。

私の造形をする上での目標も、立っているだけで存在感を持ち、そのキャラクターの内面までも表現出来る「フギア」を造る事でしたので、「オリソンのキャラクター」を造形する事は、

S字立ちを模写する日々

目標に対する熱意もありました。造形する際のポイントは、強い意志を持つこと。

身体のラインを何処まで活かし、股の弛みやシワで何処まで原画の雰囲気を出せるか。

胸や脚の肉感。

膝関節からくるふしに至るアウトラインと、腰の線からなる曲線と足首との角度とです。

安彦さんからは毎回、制作途中で原型を撮影した写真に赤ペンで的確な指示をいただいたり、監督のコメントを寄せていただくのですが、それから安彦さんの中に、建固たるキャラクター像と、立体としての姿が存在するのなと感します。ひとつひとつのキャラクターを造っていく度に、作中からそれを感じ、読み解き、表現する力が不足していると痛感しながらも、勉強させていただいています。

お忙しい中、監督をしていただくのですから、監督のための途中経過の原型をもろろと丁寧な状態でお見せできていれば良かったのですが……何時の日か、もつと安彦キャラを再現出来たと思います。

今後の「オリソン」の展開、登場するであろうキャラクターの描かれ方を非常に楽しみにしています。



※S字立ち 横から見たラインが ▶安彦氏が描いたヘルメットの形状指示。

4 智恵理氏が制作した「アムロ・レイ」フルスクリーンモデル。全高は20cm。

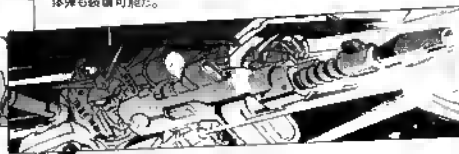
智恵理 CHIERI

PROFILE

数多いキャラクターフィギュアを手がける原型師のなかでも、業界屈指の実力を持つ原型師。独特の造形美と繊細な作品群により、多くのファンの支持を得ている。角川内匠「キャラクターモデル」誌上にて「ジ・オリソン」キャラフィギュアの製作を担当、現在Hホビーよりカラーシキットとしても商品化されている。

ジオンを恐れさせた 最新装備の数々

▼ザクとの相違点は、ビーム・サーベルなどの
ビーム兵器が標準装備されていることで、中でもビ
ーム・ライフルは戦艦の主砲並みの破壊力を持
つ。またシールド・キャノンなど地上戦で有効な案
体弾も装備可能だ。



『連邦のMSは白け物か?』

▶機体自体の性能も既存の
ものとは比べ物にならない。その
装甲はザクのハイパー・ライフル
の衝撃や、大気圏突破時に
艦外活動が可能などの強度
を持ち、バーニアの推進力は
重力下で戦闘機相手に空中
戦を繰り返すことができる。



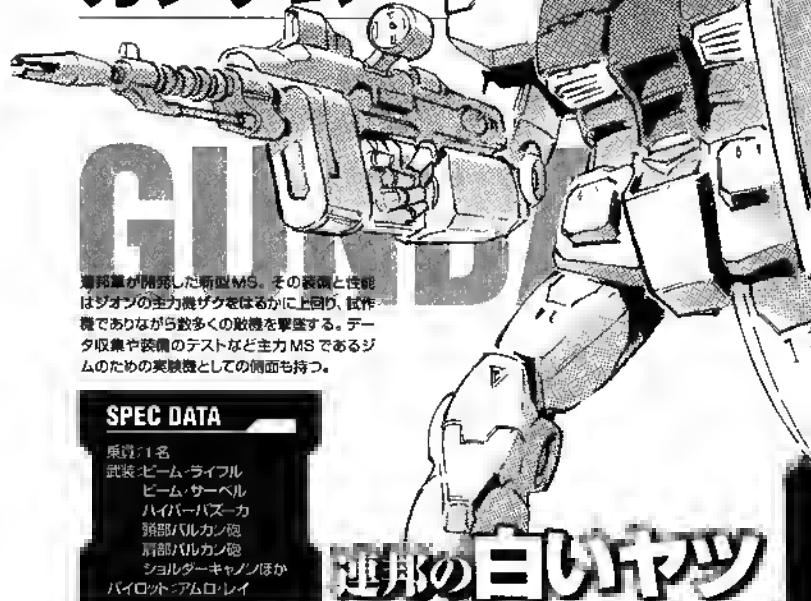
大河原チェック!

僕はガンダムから離れた後が、ただけ
ど大河原さんはやっぱり現役で関わり
ているせいか「オリジン」のデザインは
あくまで「テレビ版」がベースなんだけ
ど、「いまっぽい」というか、全然
古びてないのがスゴいね。



「オリジン」は、あくまで安彦さん
の作風だと思ってるから、デザイン
については、作者である安彦さんの要
求を第一に考えているんだ。僕の意見
はあんまり入らないで。
僕からは、いまの「ガンダム」の商品
はこの「程度の関わり構造やキミック
（仕掛け）は入ってるよ」という、ちょっ
としたことを提案して付け加えてる
程度なんだ。
それをまた安彦さんがガマン力で抽く
時に、イジめるから僕は「たまたま」を作
るような足元をやってるんだけど。

RX-78-02 ガンダム



専用機が開発した新型MS。その装備と性能
はジオンの主力機ザクをはるかに上回り、試作
機でありながら数多くの敵機を撃破する。デー
タ収集や装備のテストなど主力MSであるジ
ムのための実験機としての側面も持つ。

SPEC DATA

乗員1名
武装 ビーム・ライフル
ビーム・サーベル
ハイパーバズーカ
胸部バルカン砲
肩部バルカン砲
シールド・キャノンほか
パイロット・アムロ・レイ

連邦の白いヤツ

PROTOTYPE ガンダム試作機

RX-78シリーズの1号機。O2の前身にあたり、より試作機としての色合いが強い。基本的にはO2と同形式だが、メインカメラにゴーグルタイプが使用されている他、テストのために機体がイエローで塗装されている。

史上初となった
MS同士の闘い

SPEC DATA

乗員:1名
武装:ビーム・ライフル
ビーム・サーベル
腕部バルカン砲
脚部バルカン砲
ショルダー・マグナム
ショルダー・キャノンほか
パイロット:ウェルツ大尉

連邦が起死回生をかけ
開発した試作MS

大河原チェック!

第一話を描く時に「ガンダムに試作機があった」というアイデアを思いついて、これはいい設定だなと喜んだんですよ。そうしたらすでに裏設定として公式にあてがわれていた笑。でも考え方の方向性としては間違っていないことが分かったんで良かったですよ。



カラーリングを黄色と黒にしたんだけど、これは実際に飛行機のテスト用機体とかに使用されている色合いなんだ。試作機はあくまでテスト用の機体なんだから、その色が一目で分かるようにしななくちゃいけないからとて、こうなった。本当は軍事用とか、ちがうのかも知れないけどな。

機体に線が入っているのは、落下や衝撃度のテストをした時、どのように変形したかを確認するためのものです。

アムロ、初めての闘い そして伝説の幕開け

◀ 本編の初陣は実験配備前の戦い、それも民間人アムロ・レイがパイロットを務めるという異例づくし。だがザク二機を撃破し、結果として機体とパイロットの非凡さを証明することになった。

「でたらめだ!」貴様の闘い方は 赤い彗星との対決!

▶ この戦争を通じて繰り広げられることになるシャアとの戦いだが、当初、敵術の駆け引きも知らないアムロが、歴戦の勇者と渡り合えたのは、新型機体ならではの優位性に食うところが大きかった。

ランバ・ラルとの出会い 戦士としての成長

◀ ゲリラ戦の猛者ランバ・ラル爆るジオン軍の新型MS グフとの戦いによって、アムロは敵術の重要性を思い知るようになる。それは実戦においてMSの性能がすべてではないことを実感させられる戦いだった。

黒い三連星撃退 その代償は……

▶ ジオン軍の新型MSの性能はガンダムに近づきつつあり、MSとしての優位性に勝った戦いが難しくなっていた。特に機動力に優れたドムとの戦いでは、ミデアの機性なくしては、勝ち得なかったとは追いつまれている。



時にはガンダム以上の 攻撃力を発揮!!?

▲▶ ガンダムの隣に隠れがちだが、その攻撃力は高く、時には支援を越え、予想以上の戦果をあげることがある。パイロットであるカイ・シデンがキレるとさらに攻撃力を増すという説もある。

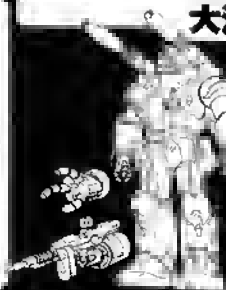


ジオン・連邦の合作 ザクキャノン誕生!

◀ 頻繁に補給を受けることもできないWBでは、破壊したパーツを補充することさえ困難なため、客肉の重として補強したザクの体にガンキャノンの頭部を設置して一体のMSとした。このことからおそらく連邦軍はジオンのザクをベースにMSを開発したことが推測できる。

大河原チェック!

あ、それは私の提議ですね。見た目で時代遅れの感じを出そうとしたんだけど……大河原さんは、こすらの要求は必ず反映してくれるから、たまに過当なこと言っただけで、たまたまなつて後悔することもあるんだよね(笑)。



ジオリジンはガンダムより旧式のモデルスーツという設定なので、テレビ版では5本だうた指を3本にしました。
そうしたらあとで安彦さんが、3本指はビーム・ライフルを持たせるのが大変だからこぼしているらしくて(笑)。でも、どうかがそうしようと言いつ出したのは、ちよつと思ひ出せないなあ。



連邦軍がガンダム以前に開発したMS。ガンダムがサイド7で実地テストを行なった当時、すでに旧式化していた。格闘兵器は持っておらず、固定武装の低反動キャノン砲とビーム・ライフルで主に中距離支援を担う。

SPEC DATA

乗員：1名
武装：ビーム・ライフル
頭部バルカン砲
低反動キャノン砲
パイロット：カイ・シデン
ジョブ・シモン
クニエルク・シモン

ホムレベース
WBを支える
中距離支援型MS
モデルスーツ

その圧倒的な 火力を見よ!

◀ 本来、長距離支援のために開発された機体だけあって、その火力は高く、特に肩部の低反動キャノン砲は戦艦の主砲に匹敵する破壊力を持っている。



たまにはこんな 使い方も……

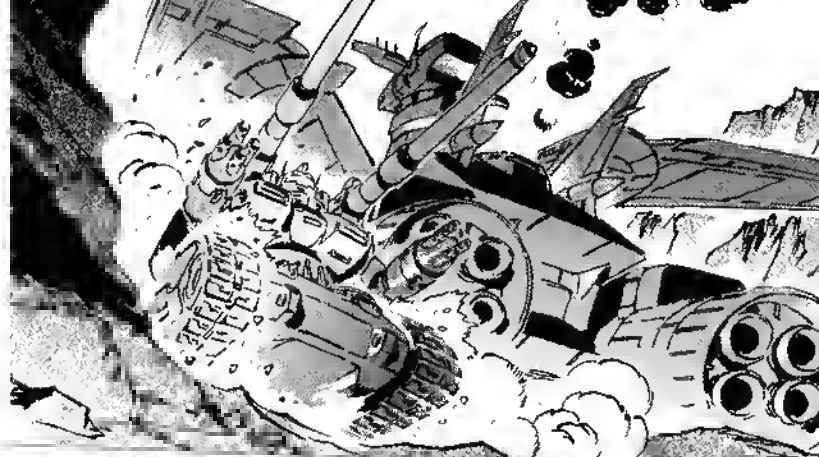
▶ 座駕してルナツーのゲートを塞いでしまったマゼランを、フルドラーより押し出しているガンタンク。「こんな使い方もあったんだ」とはしゃぐパイロットに対し、機体からのパイロットであるリュウは複雑な表情を見せる。

大河原チェック!



安彦さんは戦車とかキャタピラ系が好きなんじゃないかな、ガンタンクの注文は多かったような気がする。
アニメ版の時は中央にコア・ファイターを入れなくちゃいけないから、どうしても全高が高くなっちゃったんだけど、シン・オリンでは、コア・ブロックシステムを採用してないから、全高を低くしてより戦車の雰囲気に近づけてみたんだ。

いや、別に戦車が好きなのわけじゃありませんよ。キャタピラ描くの面倒くさいし。というかメカを描くのは全部面倒くさいんですけどね(笑)。



RX-75 ガンタンク

連邦軍におけるMS開発の最初期に作された機体。陸戦用の色合いが強く、コンセプトとしてはMSというよりも戦車の延長に近い。車体部にパイロット、胸部にガンナーが搭乗する複座式で、脚部がキャタピラとなっている。

「V作戦」……全てはここから 始まった!

SPEC DATA

乗員 2名
武装 腕部バールカン砲
低反動キャノン砲
パイロット: リュウ・ホセイ
パイロット: コバヤシ
アヘ
キムほか

初陣では単独で砲兵基地を撃破

▶ 劇中で確認できる初陣は、ジャブロー付近にあったジオン軍の砲兵基地への奇襲。外武装を使うことなく、バルカン砲とその機体を活かした肉弾戦で壊滅状態に陥れた。

その威力は
ビーム・ライフルに匹敵?
一撃でアッガイを破壊

◀ フル装備の州以外、ビーム・スプレーガンを使用することが多い。射撃距離こそビーム・ライフルに劣る装備だが、破壊力はひけをとらない。

そして連邦の逆襲がはじまる!!

▶ ザクに対抗して開発されたばかり、汎用性は極めて高く、環境や状況を選ばないその機体が量産化されたことによって、戦局は大きく動きはじめる。

安彦チェック!

実はジムというのは非常に重要なアイテムなんです。戦局というのは少数の優れた兵士や武器ではなく、こうした量産機や一般兵の質とその数によって左右されるものだと思うんですね。ガンダム一機じゃジオンには勝てない。ヒーローじゃなく、こうした多くの無名の兵士が全体の流れを作っていくことが伝わらばいいな。

RGM-79 ジム

戦況を覆す可能性を秘めた量産型MS

モデルスーズ

連邦軍がガンダムなどで収束したデータを元に開発した量産型MS。ベース機であるガンダムに比べ、装甲やカメラアイが簡略化され、ビーム・サーベルを1本にするなど各部に量産化への配慮が見られる。

SPEC DATA

乗員: 1名
武装: ビーム・スプレーガン
ビーム・サーベル
頭部バルカン砲ほか
パイロット: スレガー・ロウほか



ミデア

機体上部に付けられたコンテナが特徴的な連邦の大型輸送機。マテルダ中隊率いる補給部隊はこの機体を使用して、WBにジャブロー本部から機度も物資を届けた。



▲アムロのピンチを救うため、ドムに体当たりを仕掛けるミデア。この直後コックピットを潰され墜下に墜落、炎上し、輸送部隊マテルダ隊は全滅した。

SPEC DATA

武装：機首部/バリカン砲
乗員：マテルダ・アジラン他
特記事項：下部に取り付けられた5つのローターと、翼部にある6つのジェットで推進、飛行コンテナ部は取り外し可能。

WBを度々救った
補給の女神

ガンペリー

MS輸送用として開発された輸送機。胴体部のハッチにはMSを2機搭載することが可能。それ以外にも多くの人員を収納できる貨物スペースを持つ。劇中ではWBに乗船していたサイド7の避難民を、下船させる際に使われた。



MS輸送の
切れ

SPEC DATA

武装：ミサイル(オプション装備)
特記事項：MSや武器輸送のほか、人員輸送も可能。

4 通常は、ハッチに2機のMSを搭載して運搬しているが、オプションでこの部分に、コックピットから操作できるミサイル発射装置の設置も可能。

CORE FIGHTER コア・ファイター



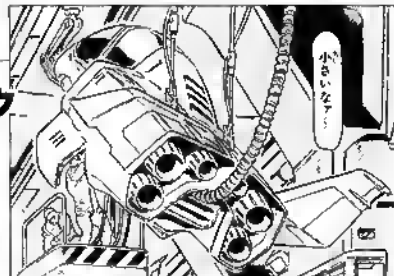
連邦が誇る
高性能
小型戦闘機

SPEC DATA

乗員：1名
武装：バリカン砲ほか
パイロット/リュウ・ホセイほか

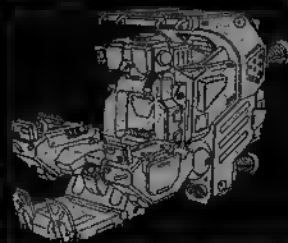
WBに搭載されていた小型戦闘機。リュウはこの機体でハモンのマゼラ・トップに体当たりを仕掛け、自らの命を引き換えにガンダムを救った。

コア・ポッド

緊急脱出用ブロック
としても活用

パイロットの生残性向上を図り、ジャブローにてガンダムの胴体内に組み込まれた小型飛行機。緊急時には脱出ポッドとして機能する。

大河原チェック!



最初、オリジナルでは、コア・システムを外そうと安彦さんと云ってたんです。だからコア・ファイターはただの戦闘機なんです。それ、宇宙飛行士の脱出は、宇宙飛行士の座席につけられはいるだろうと、それで試みに描いてみたのか左の図の操縦席です。ところがある日、安彦さんか「やっぱりコア・ブロックシステムは必要だよ」と言っていて、コア・ポッドを組み込むことに(笑)。まあ、リアルなやつ、ハクトが全然違いますからね。



▲その特徴的なシルエットの主翼は折り畳み式となっており、大気圏突入時には抵抗を減らすために後方に収納される。また船体下部にある副翼も大気圏内を飛行する際にはその形を変える。

状況に合わせて姿を変える可変式主翼

息詰まる地上戦!!

▲対外的には民生用の補給艦として建造されたため、WBの兵器は他の軍用艦と比べて決して多くない。特に後部銃座が手薄であり、ランバ・ラルの部隊にそれを見抜かれ、攻撃された際は、あわや撃沈のピンチにまで追い込まれた。



あふれる避難民の居住

▲避難民が大量に乗船しているWBの人口密度は、他の軍艦と比べて極めて高い。個室を与えられているのは、一部の科官とパイロットのような特殊任務に就いている者だけである。

再び飛び立つ日のために……

▲ジャブローに到着したWBを待っていたのは、装甲とエンジンの強化をはじめとする大改修であった。艦橋前部や艦尾への武器の搭載など、火力は大幅に向上し、これによってWBはこれまでの補給艦という仮の姿を脱して、宇宙戦艦として生まれ変わる。



少年たちを乗せ、戦場を駆ける白い木馬

ガンダムなどを搭載する連邦軍の最新鋭補給艦艦橋、MSを収容しているデッキが艦前方に張り出した特異なシルエットから「木馬」と呼ばれる。後にジャブローにて強化され、本来の姿である宇宙戦艦としての性能を付与された。

ホワイトベース



SPEC DATA

武器：メガ粒子砲
対空機銃
ミサイル
主砲
ビーム砲台
艦長：バトー・カシアス
フライト・ノア

MECHANIC GUIDE

文藝の天才に懸念させ
 頃までも、20余年の筈を経て、
 生自らが描かれた漫画
 もとは驚かして思っていた
 毎月「ジョージン」を購読度
 絶大な勢力を目の当たりにし、先
 知見するばかりです。安藤先生
 を不肖で、これからも讀者に感
 謝して頂きたい。



HIROYUKI KITAZUME

「機動戦士Zガンダム」作画監督を担当。以降「機動戦士ガンダムZZ」「機動戦士ガンダム逆襲のシャア」ではキャラクターデザインを担当。その後「モルダイバー」(原案・監督)「聖少女魔隊バージンフリード」(キャラクターデザイン)等の作品に参加。月刊ガンダムエースにて「C.D.A.若き星の肖像」を連載中。

量産化に成功、数は力だ!

潜入・偵察にも適した モビルスーツ 汎用型MS

▲機動力に富み、細かい作業も可能な本機は、様々な任務に対応することが可能だ。中でも開戦初期、大勢を決定づけた「コロニー落とし」は、本機があつてこそできた作戦と言っても過言ではない。

ライフル・バズーカなどの 銃火器も装備

▲国力で劣るジオンの主力兵器には、様々な状況に対応でき、一機あたり高い戦果をあげることが要求された。そのため作戦によって交換できる大火力の外装武器が開発され、実際に連戦を重ねる結果となった。

大河原チェック!

ザクに関しては、安彦さんからかなり具体的なラフが来ているのでそれに準じて描いたんだ。アニメ版からの修正も、まあ細かいけどへんげりがない。大きな変更点としてはマシンガンが、背中からの給弾式になったことがな。安彦さんが「あれ(アニメ版のドラムマガジン)はちょっと僕気に入らないな」ということだったのでね。

◀本機以前にもMSは開発されていたが、主に訓練・研究用であつたため、兵器としての優秀さは本機がルウム戦役により大量投入されたことによって証明された。

ジオン軍の優勢を決定づけた 画期的な機体

MS-06 ザク

ジオン軍の主力MS。状況に応じて戦術を変更できるなど極めて高い汎用性を持つ。従来の兵器を圧倒する性能を持つこのMSを戦線に投入することで、国力で劣るジオン軍は連戦を重ねる以上には渡り合うことが可能となったのである。

SPEC DATA

乗員 1名
武装 ハイパーライフル
ビートホーク
ザクバズーカ
胸部バレルガン砲
クラッパ一足か
ハイロケット デュニム
シール ほか

宿命の闘いは ここから始まった

▲◀ シャアの「3倍のスピードを持つ」イメージを作り出した本機だが、実際の推進力は通常機の3割増し程度と言われている。それでも数々の名勝負を生むことになるガンダムと初めて対戦した際には、新型MSにひけをとらない機動性を発揮した。



▲◀ 顔部にある角状の突起は、命令の伝達・交信をスムーズにするために通信機能を強化するアンテナで、中隊長以上の機体に装備されている。

そして2人の闘いは続く……



MS-06S

シャア専用ザク

「赤い彗星」の異名を持つシャア・アズナブルの専用機として機体色を赤く塗装したザク。量産型ザクとは装甲の形状が一部異なる他、頭部には指揮官機を示す飾りが付いている。シャアはこのザクを通常の3倍の速度で駆り、ルウム戦役では5隻の戦艦を沈めたと、連邦軍では恐れられている。

SPEC DATA

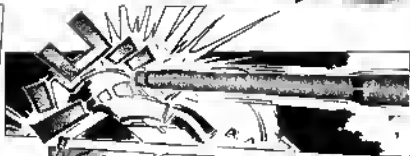
番号：12
武装：ハイパーライフル
ビートホーク
リクバズーカ
胸部バルカン砲
パイロット：シャア・アズナブル

これが赤い彗星だ!

モビルスーツは 格闘能力だ!!

▶▼本機は当初、実験・訓練用として開発されたため、素手での格闘も主な戦術の一つとされている。ただしそれはパイロットの技術力に左右され、機体自体の性能に關しているわけではない。後継機であるザクが開発された後は、ザクの武器を流用できるようになった。

百戦錬磨の
力を見せて
やるっ!!



カイの天敵? 宇宙で地上で2連敗

▶▼宿敵、というわけでもないのだろうが、なぜかWB隊のカイ・シンデンは、本機と戦うハメになることが多く、ルナロー、簡米でそれぞれガダム、タチと交戦、二連敗を喫している。バニクっているところも、ガンタンクに助けられるという同じパターンだ。



MS-05 旧ザク

MS-06ザク以前にジオンが初めて実用化を果たしたMS。ザクが本格的に量産された後は旧式機として前線を退いていた。動力パイプを内蔵している筈や、モンティレールの支柱が正面に位置する頭部など外見上ザクと多少の差異がある。ルウム戦役では高い三連星も稼いだ。

SPEC DATA

乗員:1名
武装:ビートホークほか
パイロット:ガテム
タチ
ガイア
マッシュ
オルテガほか

すべてのMSの
原型となった機体



多様な武器を使い WBを壊滅寸前まで追い込む

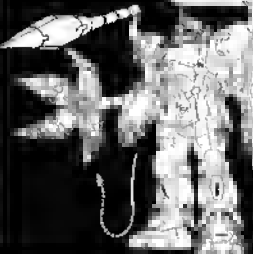
▲イラン・ラルが格闘した際は、相手の動きを止める電波を流すヒートロッドや、左腕の指に仕込まれているバルカン砲など、対MS用に特化した装備ならではの装備を駆使して、一機でガンキャノン3機、ガンタンク1台を撃破する快挙をなしとげ、その設計理念の正しさを証明した。

『ザクとはちがうのだよ、ザクとは』

▲地上戦に特化した開発を進めた結果、機体の軽量化に成功。ザクに比べて高い運動能力を持つMSに仕上がった。またその格闘能力の強化は、角付きのショルダーアーマーが両肩に装備されていることから見て取れる。

大河原チェック!

グフはヒートロッド以外は、そんなに強くないかな。でも頭はアップに耐えられる。(笑) ようにはしました。基本的にマンガではアップに耐えられるかどうかってのは大きいんですよ。



安彦さんからは、これまでのグフより顔をせりあかった感じにして、つり目系にしてくれというリクエストがあったんだ。あとはヒートロッドで、先がカハツと開くのはどうだとか。確かにかなり色々々シヨシヨが出来る物にしたという話だったんじゃないかな。

MS-07 グフ

ザクをベースに開発されたジオンの超戦型MS。開発当初よりMS同士の間合い戦が意図に置かれていたため、ヒートロッドと呼ばれるムチ状の兵器やヒートソードなど接近戦用の装備が充実している。ランバ・ラルはこの機体を駆けてガンダムを窮地に陥れた。

青い巨星が愛した機体

SPEC DATA

乗員：1名
武装：ヒートロッド
ヒートソード
フィンガー バルカン砲など
パイロット：ランバ・ラル

闇にまぎれて奇襲をひかけ WB隊を翻弄する

▲▶ 航行不能となったWBに攻撃を仕掛ける黒い三連星。闇にまぎれ、ホバークラフトによるその機動力を活かして捲きまくるその姿は、まさに忍者。ルウム戦役で搭乗した旧ザク同様のDMにも使われるボディカラーである黒を使用。

ジェットストリームアタック失敗



▲▲ ジェットストリームアタックとは、直線上に数人が3機のMSで、次々に攻撃を繰り返す。黒い三連星による連体攻撃だが、アムロのパイロットとしての天賦の才と、ビアの機性により敗れた。



MS-09 ドム

ジオンの陸戦型重MS。ホバークラフトで地上を高速走行することができ、鈍重な外見に似合わず機動性は極めて高い。ガイア率いる黒い三連星と本機の組み合わせは、機甲一傑師団に勝るとはマクヘの弁。ラノバ・ラル隊に配備される計画もあった。

黒い三連星が操る高機動重MS

SPEC DATA

乗員: 1名
武装: ヒートソード
ジャイアントバズーカ
胸部拡散ビーム砲
パイロット: ガイア
マッシュ
オルテガ

ひどいものだな 使えるのか?

▶見た目はアンバランスだが、工作機部としてはクロー部による細かな作業も可能で、ジャブローへの突撃口を開く。

近エ
タイ
作機
部は
に
ヤク
の
初
期
ア
ッ
ガ
イ
の
機
体
に
用
で
す

特殊工員も運搬可能!!

◀胴体部には4〜6名の搭乗が可能。ジャブロー侵入の際は、それぞれ6名ほどの工作隊が2機のアッガイに収容され潜入し、大きな成果をあげた。

▶部下の工作隊が失敗したことを知り落胆した赤井は、新型MSジムと接触して、功を焦り攻撃を仕掛けるが返り打ちにあってしまいます。

無情な戦いではないぞ
きさまの死は

大河原チェック!



安藤さんは、僕なんかとちよ
と好みが違うアッガイが好き
たい(笑)
打ち合わせの時に「ハッチが
ぼ」と聞いて人が振り返る」と聞
いたんだけど、ハッチが全開で、
これまでのガンタムのメカにはな
いイメージだから「ホントに
全開開けちゃっていいのかな？」
って結構悩みました。
ただ実際に作中で使用されて
いる絵を見ると、違和感なく、そ
れがちゃんとひとつの特徴になっ
ているんだからすごいよね。

MSM-04 アッガイ

潜入や特殊工作用に開発されたジオン軍の水陸両用型MS。コクピットとは別に特殊工員が複数名搭乗するスペースがあり、乗降時には胴体前面がクラブのように展開する。劇中ではジャブローへの侵入口を発見、潜入するために使用された。

SPEC DATA

乗員：1名(工作員6名)
武装：頭部バルカン砲
腕部バルカン砲
クロー
パイロット：赤井
ラムジ

潜入・工作活動を
得意とする多目的MS

モビルスーツ



モビルスーツ ジオンのMS優位性を 証明する斬新な設計

▶ 水陸両用機という従来のMSにはないコンセプトで開発された本機は、水中はもちろん地上戦においてもザクを上回る戦闘力を発揮できる画期的な機体である。

赤い彗星の機体で 復活する!

▶ 除隊処分となっていたシャアが、軍に復帰する際、極限したのが本機でボディカラーはやはり赤であった。

大河原チェック!

ズゴックについては、まず全体のフォルムとして、アニメよりボリューム感を出してくれと言われたのを覚えてる。それと関連した、ズゴックは腕を上に向けたシーンが多くあるんだけど、マンガだとアニメみたいにこまかせないからね。肩を動かしやすいように球体関節っぽく仕上げてみたんだ。

4 水陸両用MSの最高傑作と名高い本機の機動力は、潜入、工作用に開発されたアッガイと並べてもひけをとらず、地下水脈を無事進行してジャブローにたどりついた。



MSM-07 ズゴック

ジオン軍の主力水陸両用型MS。接近戦用のクローを始める強力な武器を内蔵しており、高地戦用ではあるが、海などが関係している地域では極めて高い性能を誇る。シャアは赤く塗装されたズゴックに搭乗してジャブローへの潜入を果たした。

SPEC DATA

乗員: 1名
武装: ミサイル
メガ粒子砲
クロー
パイロット: シャア・アズナブルほか
特記事項: ジャブローにて実戦配備

ジャブローに現れた 異形の機体



ムサイ

ジオン宇宙艦隊を代表する名艦

SPEC DATA

武装: 2連装メガ粒子砲
乗員: トンほか
特記事項: シャアのムサイの艦橋の形状が通常のものとちがうのは、ドズルから取り受けたからという説がある。

ジオン宇宙艦隊の主力艦。主兵器は3基の2連装メガ粒子砲で、MSの搭載も可能。艦首にはコムサイ、または大型のW・コムと呼ばれる大気圏突入カプセルが接続される。



W・コムはMS収納能力を持つ。コムサイが、W・コムの艦首にあるトレンは不特好だと嫌っていた。

ザンジバル



大気圏突入や重力下での航行が可能。ジオン軍の最新鋭宇宙艦。MS搭載能力の他にWBを上回る火力を持つ。一機艦はランバ・ラルを経てマ・クベに届けられ、彼の旗艦となった。

WBと同等の性能を秘めた機動巡洋艦

SPEC DATA

武装: 2連主砲
メガ粒子砲
乗員: ランバ・ラルほか



▲ランバ・ラルがWBと初めて交戦した際、戦艦から離脱する時に目くらましして船首の巨大投光機を利用した。艦体上部には2連主砲を持つ。

SPEC DATA

乗員: 2名
武装: メガ粒子砲
爆弾
乗員: ガルマ・ザビ他
特記事項: ザビ家の四男、ガルマ・ザビは本機でWBに特攻をかけたとして爆死した。



ガウ

L.A.に散った空の要塞

大河原チェック!

アニメ版では多くのセル画を描く必要からゆえ、線は簡略化されることが多い。

シ・オリジンの設定では、かなり細かいところまで線を入れてるけど、これは安藤さんからの要望なんだ。アニメだとこうしたラテールが入った絵は嫌われるんだけど、マンガの場合は事前にこうした細かい絵を渡しておいた方がアップになった時などにもすぐ対応できるというところなのだ。

ジオン軍の巨大飛行空母。移動要塞「アッザム」すら搭載することができる大容量の格納スペースを持つタイプもある。また、対地攻撃用爆弾を多数搭載することが可能で、爆撃機としての運用も行われた。



大編隊で襲いかかる空の脅威

SPEC DATA

乗員: 1名
武装: バルガン砲
6連装ミサイルランチャー
パイロット: ガルマ・ザビほか

ジオン地上軍の航空戦力の中核を担う艦隊攻撃機。コクピットが上方にせり出した機体形状が特徴である。ザビ家の末子ガルマはこの機体で前線に赴いた。

▲このコクピットの形状は、ミノフスキー粒子が散布された戦場を想定して、有視界を広くするためである。

絵が動き出すんですよ、安彦さんが描くと

「この本を作るにあたり、設定画をまとめてみたのですが、ドムなど新規のデザインがない機体が結構ありました。これは当初から完成度の高かったものだから、リファインしなくていい」ということだったのでしょうか？

大河原 いやいや、そういうことはなくて。ドムに関しては、以前僕が映像用にディテールアップしたデザインがあったので、それを安彦さんに見せたんですよ。そうしたら「これだ」ということになったので、それをベースに描いてもらってるんだ。

「リアル」かどうかはあまり意識してない
「機動戦士ガンダム」も最初のTV放映から25年が経過していますが「ジ・オリジン」で新しく設定を描き起す時には、どういったことに注意されていますか？

大河原 僕は、できるだけ安彦さんの要望に応えようとしているだけで、よく言われるリアルさとかは、あんまり意識してないんだよね。安彦さんもリアルというよりは印象に残る形を追いかけたい感じがする。ジャブローのアッガイとかカワイかったじゃない。あとは関前とか装甲とか、立体化しても、ちゃんと動かせる形にしようとか、そういうことですね。

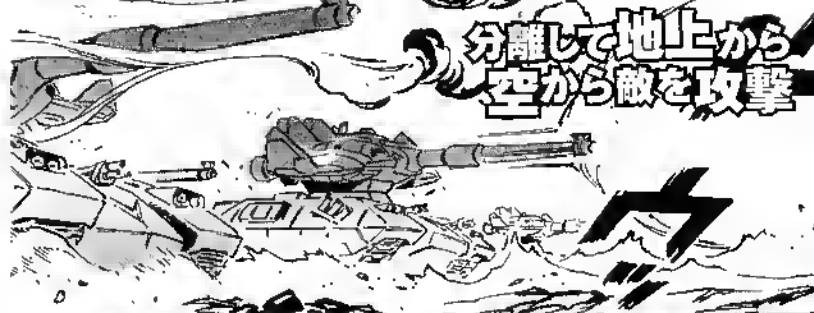
「ジ・オリジン」を見て思ったよ、これこそガンダムだ！って

「おなじみ大河原さんは、アニメ版ガンダムで最初にザクが動いたのをTVで見た時は感動したとよく言われてましたけど、「ジ・オリジン」の第一話を観た後、どんな印象を受けましたか？

大河原 ああ、懐かしいな、これこそガンダムだと思ったよ。安彦さんはアースター出身だから、止めんなだ、と動いて見えるような

「では、そのために当時、自分が描いた設定画を見返したり、とか？」

大河原 そうそう、僕にとっては結構残念なことなんだよね。さつきも言ったけど、一週間とかホントにギリギリの状況で描いたものばかりだからさ。見て、その当時のことを思い出すと、ああ……ってなっちゃうんで、さ。



マゼラアタック

SPEC DATA

乗員: 2名
武装: 主砲
3連装機関砲

ジオン地上部隊の主力戦車。「マゼラ・トップ」と呼ばれる砲頭部は分離して単体で飛行することができ、飛行中の砲撃も可能である。MSが戦力の中心となった後も前線活躍する。

ギャロップ

SPEC DATA

武装: 機関砲
乗員: ランバールほか
特記事項: ラールを亡くした彼の部隊は、ギャロップのカーゴに大量の物資を積み込み、WBへの特攻を回った。

ホバーで走行するジオンの陸戦車。MS搭載能力を持つ本体の後方には物資を積載する「カーゴ」と呼ばれるユニットが連結できる。地球に降下したランバール部隊の母艦として使用された。

愛とともに行きた
ラル隊の前線基地

大河原邦男 KUNIO OKAWARA インタビュー

PROFILE

「科学忍者隊カッチャマン」で日本初のカメコデザイナーというクレジットを得る。「機動戦士ガンダム」のカメコデザイナー担当後、リアルロボット路線からギャク系作品まで幅広いデザインを担当。その斬新なデザインは多くのファンを魅了し続けた。「ジ・オリジン」ではメカニックデザインを担当

始動編



『コクピットだけを
やれるか…!?!』

STORY GUIDE

スーリー

▶ 連絡が何かをこのコロニーでやっているということは、往人たちは薄々感づいていたらしい。軍属の連中がやってきてからコロニーの工事が進まなければ、何かあると思うのは自然の成り行き。そのため軍属と民間人の間での軋轢が存在していた。



「だって軍属だろ
あいつのオヤジ」



「これがジオンの…
ザクか!!」

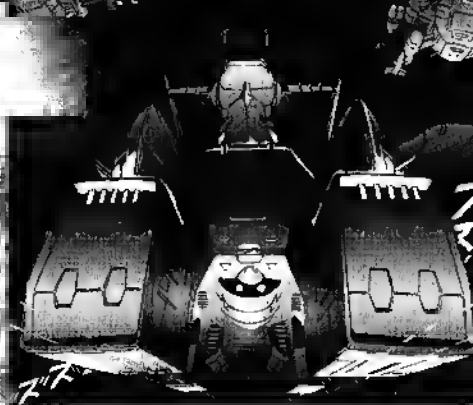
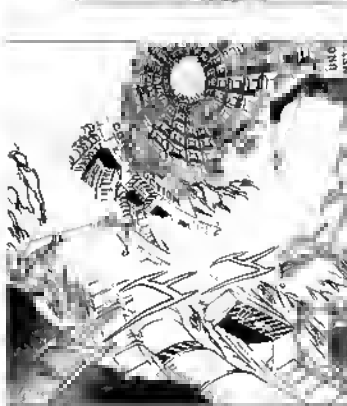
◀ アムロは当然、知識でしか「ザク」を知らなかった。巨大な人型の兵器が圧倒的な「死」を焼き散らす凶悪なシーン。この時点ではザクは画期的な新兵器であり、目にした人の方が少ない。そのザクを徹底的に「ガンダム」が如何に潰しか理解できる。

冒頭の部分では、かなりズマ版カノンダムを認識した形になっている。よな、長い物語の重要なポイントになるシーンだからね。アムロ版と変えていきたいという気持ちもあるんだと他にやりようがない。という部分があることもあるんだ。

安彦
ウラ話



始動編



▲ 4 時を同じくしてサイド7に侵入する「戦争」を象徴する二つの異物。この後の訪刺を予感させるような警告のサイレンが鳴り響く。工事編組の向こう側で一般人の目から隠されたモビルスーツ開発プラントが存在している。そのためテム・レイの振向きの身分はコロニー工事技術者だった。

平和な日常の終焉
ふりかかる戦いの炎

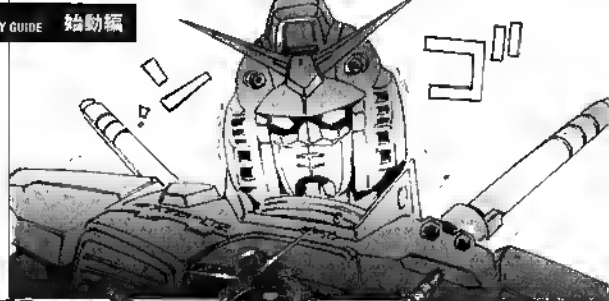
開戦から8ヶ月。

ジオン公国と連邦の戦いは数多くの犠牲を伴いながら膠着状態にいつていた。

主人公のアムロ・レイが暮らす、サイド7はいまだ建設中の新興コロニー群。自治政府は開戦と同時に中立を宣言したため、戦争の影響からは遠く落ち着いているように見えた。その日、地球連邦の新造輸送艦が入港するまでは……。

中立コロニーを隠れ蓑に連邦の新型兵器の開発コロニーとして機能していたサイド7は連邦の反戦作戦「V作戦」の中核をなすモビルスーツの開発を行っていた。それらの輸送のために新造輸送艦「ガウイトベース」が寄港したのだ。

その情報をキャッチしていたジオンのリース・シニア・アズナブル少佐は強行偵察を行うため、サイド内に部隊を派遣。そこで発見した連邦の新型モビルスーツと戦闘を始めてしまうのだ。



「内部にだれか
いますっ!!」

「う
動きまです!!」

の破壊を招くことに気がついたアムロは残ったザクのコクピットだけを破壊するという神業的な操縦で全てのザクを撃破する。
その頃、偵察部隊の報告を聞いたシャアは連邦の協定違反に對し

て報復を決意。コロニー内のW.B.に
向かってミサイル発射を命じていた。この瞬間、膠着状態だった「戦争」が再び多くの人々を巻き込み
動き始めたのだ。

「コクピットに
回線をつなげ」

「パイロットを
呼び出せ!!」

▲無力な自分が、理不尽な暴力に
対抗するため力を欲したとき、目の前に
あった「力」が「ガンダム」であった。
父親のファイルを見ていたことで動
くことが可能だった。



「高い代償を
払わせてやる」

「連邦は協定を
破った……」

「……やりま
すか」

▶ジオンの地球降下
作戦後、締結された商
種条約の中に含まれる
協定のひとつ。だが、
連邦のモビルスーツ開
発研究は開戦より通
か書きスタートしてい
たと思われ、開戦され
ていた。

RX-78ガンダム始動
その圧倒的な力

建設区画を隠れ裏にモビルス
ーツ開発を進めていたブロック内で始
まった戦闘は、間をおかず居住区
画まで拡大していく。

それは連鎖を始めていた一般市
民を当然のように巻き込んでいく。
目の前で家族を失ったフラウ・ホウ
を助め、決然と視線を上げたア
ムロの前に連邦の新型モビルス
ーツ「ガンダム」が現れていた。開発
技術者だった父親のデータファイル
を見ていたアムロは無我夢中でコク
ピットに乗り込む。破壊しよう
とザクの攻撃が迫ってくる中、何とか
起動させる。圧倒的なパワーと装
甲でザクを威圧するが、武器もな
く決定的な一撃を持たないアムロ
に父・テム・レイからの通信が入る。
「ビームサーベルを使え」と。アド
バイスに従いザクを撃破するアムロ
だったが、核融合炉の爆発により、
コロニーの被害は拡大してしまう。
刻々とコロニー内の気圧が下がって
いく中、これ以上の破壊はコロニー



▼新兵、ジオンの功をさせるあまりの暴走が戦勝を戦敗
行為に変えていく。民間人の存在などまったく気にかけ
ていないために多くの犠牲が生み出された。あまりに理
不尽な出来事に悲しき、怒りといった複雑な感情に支配
されるアムロ。



「走れフラウ!!」



「戦場で
手柄をたてて
出世したんだ!!」

「シャア少佐だって」

通常の約二倍で接近中!!

WBの発進を狙いましたミサイルをアムロは再び偵じられないよう操縦で撃ち落とす。

だが、ほつとしたのも束の間、WBのレーダー管制官が不吉な叫びを上げた。接近する二機のモビルスーツ。その内の一機が異常に速い速度で接近しているということ。

「シャアだ!」その報告を聞いたバオロ艦長が叫ぶ。悪魔の如き、ジオンのエースパイロットの戦闘能力は連邦軍兵士の間では語り草となっていた。

素人同然のアムロが乗る連邦の新型モビルスーツ「ガンダム」にジオンのエースパイロット、シャアの真紅のザクが迫る。

「見せてもらおうか…。連邦軍の新モビルスーツの性能とやらを…」

誰の目にも悲惨な結果が思い浮かんでいた……。

▼シャアぐらいの技量を持たなければ、勝てない。そのことを知るアムロは、ザクの3倍ほどの機動力を持つという。それゆえにレーダーの動きだけでシャアと判断できた。

「シャア一人のために撃たされた……」

「ルウム艦隊では五隻の戦艦が……」

◀指揮所とは思えないテクニックでザクを撃破したアムロ。その頃、港にはムサイ艦からのミサイル攻撃が始まっていた。非難地域での攻撃に反感を覚える艦長。



「ムサイ艦が撃ってきています」

◀フラウは自分の感情を押し殺して、不安がる知り合いの子供たちの世話を運んでる。このような一面がアムロのいう「強い娘」という部分なのかもしれない。

サイド7脱出 迫り来る最強の敵

激しい混乱の中、人々は救いを求めて海中のWBに殺到していた。そんな中、知り合いの子供たちの面倒を見ながら避難するフラウの姿もあった。幼い子供たちの手前、自身の混乱を押し殺すフラウだが、ボランティアのセイラムスとともにコロニーに残された人びるいが見回りにいった際に互種の中から「ハロ」を見つけ思わず泣き崩れるのだった。

一方、ムサイ艦の攻撃に対し時間を稼ぐために魚雷艇で出撃したバオロ艦長は重傷を負う。艦長が身体を張って稼いだ時間により民間人の避難も終了したが、WBの発進を待ち構えるムサイ艦の脅威は依然、健在のままだった。

艦長代理に任命されたフライトはWBにたとえ驚いたアムロにそのまま、WBとの闘争を命じる。

その言葉にアムロは強い反発を覚えるが、自分の知り合いの乗る艦を守るため再び出撃していく。



子供じゃない!
ボクは十五
ですよつ!

アムロ・レイと
います!

この艦には
キミの大事な
友達だつて

果っているん
だからなつ!

激闘編

『未熟だな！
連邦のパイロット!!』

アムロのパンツと ミライさんのスカーフは 同じ生地?!!

「ジョーリン」調査委員会からの報告書によると後にWBの乗組員となるアムロレイのパンツとミライヤシマのスカーフが今回その証拠となる決定的な画像を入手したのでご確認いただきたい。画像を拡大してみるとあきらかに華柄の同じ模様であり、単に似た柄でないことは明らかである。サイド7は盗賊、物資不足で配給制をとっていたとはいえ、WBのおかあさんの存在のミライさんのおしゃれ普段着が生息アムロのおまり洗濯をしていなさそうなパンツと同じ生地をつかっていたという厳しい事実を我々は受け止めなければならぬ。セイフさんのハンカチが同じ生地でないことを祈るばかりである。



ちなみにミライさんは今回のスカーブを知らない。伝える必要もないであろう。シャブローで捨ててくれたことに期待しよう。

安彦 ウラ話



いやー。最初のアムロの登場シーンでね。よせばいいのに手近なスクリーン・トーンを貼ってしまったよね。しかも僕、あんまりトーンの権限もってないんですよ。その後ミライさんのスカーフが白だとあんまりシャレじゃないから、トーン貼ったそれからより、アムロのパンツと同じ柄でね(笑)。やっぱりアムロは綿ハンカチだね。今度「ジョーリン」の監製版があるからそこで描き直すよ。あ、今回の描き下ろしは綿ハンカチ。



▲TV版第1話より
綿ハンカチより

その赤いザクには

きみは
勝てない!!

▼新型なのに運動性で負けているアムロは、限界に近い性能を引き出しているシャアに対し大きな焦りを抱く。

ジオン軍エースの
戦闘能力!

サイド7を出港したWBと護衛のために出撃したアムロにシャア少佐の駆る真紅のザクが迫る。性能で勝るはずのガンダムだったが、シャアの操るザクに翻弄されるアムロ。圧倒的な戦闘経験の差に次第に追い詰められてゆく。アムロは主兵装であるヒュライフルで、かる

うじて、一機のザクを撃破するがエネルギーを使いきり、致命的な危機に陥ってしまう。

その時、WBのメガ粒子砲の援護射撃がシャアを撤退させることに成功する。だが一時の不利を理解した戦略的な敵軍であることは明白だった。

なんとか生き残り帰還した、そんなアムロにフライトは当然のように労いもなく、罵声を浴びせる。そ



『あれに乗ってるのアムロらしいぜ』

れほど状況は逼迫しているのたといわんばかりに。

砲火に巻き込まれた避難民を収容し、多くのベテラン軍人を失ったWBは、新兵と民間人の有志で構成された寄せ集めのクルーで、この危機を乗り切らねばならないのだった。

巻き込まれた自分たちの立場に戸惑う避難民たち。その中のカイとハヤトは、自分たちを守ったモビルスーツに知り合いのアムロが乗っていることに戸惑いと驚きを覚える。

そしてアムロは自分に選択肢がないことを改めて噛み締めている。戦争に参加しなくては、生き残れないというジレンマを。



▲戸惑うだけの自分たちに、アムロがモビルスーツで戦闘を行っていることに何かを感じるカイとハヤト。このことが二人を後に戦闘に参加させる。

『甘ったれるな!』

『けど
やるしかない
んだらう?』



▶アムロはサイド7にて戦争に直接関係ない人がいきなり殺されるのを目撃している。それ故に逃げるだけでは戦いを回避できないことを、肌で感じとっているのが。





「赤い彗星が作戦の途中で補給をほしがるとはな」



▲遊戯民でござんた。混乱し不満をわめく人々を鎮めるセウラ。彼女の言葉と行動には、本人の経緯によるものと思しき裏がある。斜に構えるでもなく取り返すまでもなく、彼女は常に行動で態度を示しつつづける。

『死にたくないからやってるんだ』

ルナツーでの実戦 反撃の狼煙

一番近い連邦軍の駐留拠点である月軌道上に据えられた資源衛星を利用した軍事基地ルナツーに進路を決めたW。ザク一個小隊を失ったシヤアが補給を受けることを察知したプライトは、クルー全員の作戦会議で

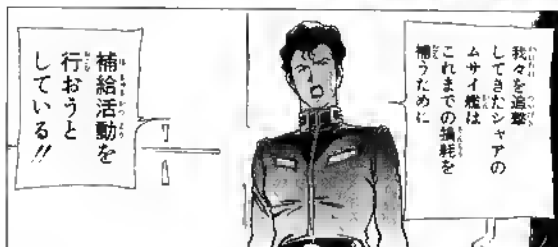
をしようとする二人だったが、戦場の過酷さを想像してはいなかった。かくして作戦は実行された。補給中のムサイ艦を攻撃するカイたち。カイたちは戦場の激しさに死を身近に感じるが、プライトは作戦の巧妙さに自分たちの勝利を予感する。ところが止めの一撃を放とうとするWBの前にルナツー所属のサラミス艦が立ちちはたり、すんでのところでシヤアを取り逃がしてしまう。新造艦のWBは連邦内でもいまだ所属不明となっていたのだ。拘引されたWBクルーはルナツー内で取り調べを受ける。それらの出来事は一枚岩ではない連邦内の混乱を予測させる一方、逃れたシヤアはルナツー内に白兵戦を仕掛けようとしていた。拘留中のアムロはなぜかその不穏な気配を感じ取る。何か危険が迫っていること。それは戦場をくぐり抜けた動のようなものだったのかもしれない。基地内に進入したシヤアはドックの破壊工作を補助にガンダムのデータを書き取ろうと試みるのだった。

▼まさに敵の裏を掻いた形となった作戦に勝利を予感するが、結果的には取り逃がす。この時、邪魔が入らなければ、後の展開は変わっていたはずだ。

「この作戦はいい!!」



追撃の手を逃れるために補給を妨害、戦力のない今、これを撃破せんと提案する。クルー全員の気運が盛り上がる中、生き残る戦いではなく、殺すために人に命令されることに納得できないアムロは、攻撃参加を拒絶する。だが、攻撃案は可決され、攻撃にはカイとハヤトも参加することとなる。自分たちにもできること



▲ガンダムの整備を手伝うアムロ、もともと機械工学が得意であったため、父親のガンダム開発資料を見ただけで乗りこなすことができたといえる。設備するのは好きな種。

▲リーダー 索敵から推測したシヤアの行動に対し、逃げるばかりでなく攻撃は最大の防衛という言葉を実践しようとするプライト。経験が少なからずその英断となつた。

ジャブローまで
生きて
帰ってくる
のだから!!

このうしろ
最大の
攻撃する
チャンスだ



そういう
今こそ

▲大気圏に突入するWBに対し、迎撃をかけるシャア。艦の外縁に大きなダメージを与えるだけで敵艦を破壊できるなど利点も多いがリスクも大きい。自由落下での戦闘はタイムリミットを過ぎると帰還不能に。

『このタイミングで
戦闘をしかけた
例は過去になび

『ガンダムを
発進させた!?!』

▲突入角度がずれるだけで降下地点は変わり、角度が深くなれば、燃え尽きてしまうデブリートな大気圏突入。その最中にモビルスーツを発進させること自体、前代未聞の出来事といえる。



アムロ
もどれ!!
ザクは
もういい!!

れるかにかかっていた。
ジャブローに直接降下する軌道で大気圏突入を準備するWBだったが、そのもつと忙しく手薄なタイミングでシャアは攻撃を仕掛けてきた。
大気圏突入のタイムリミットが迫る中、戦闘に手を取ったアムロはWB帰還不能となっていました。

『この白いヤツは
バケモノか!』

▲降下限界を過ぎ、WBに戻れなくなったアムロはWBの影に入り、甲板に取り付くことで生還する。彼の判断が数秒遅くとも生還は不可能だったろう。

▼ルナツーに進入したシャアはセイラと出会う。互いをいかにしむ二人は生き別れの兄妹。この時点ではお互いに確信を持っていないが、懸念が後のシャアの行動に影響を与えていくこととなる。



『ガンダムが
狙われている
んですよ』



かかれ!!



新しい時代の
防衛を

姉げ
ないため
にも!!

▶戦死したバオロ艦長の意向もあり、現状の人員でジャブローを目指すWB。彼は戦争に巻き込んでしまった若者たちに申し訳なきを感じるとともに何かを期待していた。

疑惑の邂逅
重力の井戸

アムロと同じように胸騒ぎを感じていたセイラはガンダムのデータを確認しようとするシャアと出会う。就を突きつけ、制止するセイラの前でマスを取ったシャアの顔に



『ジャブローに
向かいます!!』

セイラは不思議な既視感を覚える。同じくシャアもセイラに妹の面影を感じ、撤退するのだった。重傷を負っていたバオロ艦長が戦死する中、連邦軍本部のあるジャブローを目指し、再び出港するWB。すべてはシャアの追撃を逃れら

ガルマ編

『わたしが功をあせっているだと?』



中年おやじの魅力こそが ジオン軍の魅力なのだ!!

ワオ
オリジン

「ワオオリジン」ほど魅力的な中年男が数多く登場する漫画は他にないだろう。しかも足が長く、金持ちのおじ様、かっこいいおじ様、小太りでおじ様が、汗臭いおじ様、ばかりなのだ。であるにもかかわらず、なぜにはいられないそのキアラ達。その理由は絵としての装飾的なことさ。ただでなく、その台詞、その行動に彼らの生き様がしっかりと描かれているからに他ならない。



「ワオオリジン」で初登場のガルシア。どこかにいいそうなりアルなキャラが魅力的。



初めてヘルメットをとったワレン。この髪型しかないですよ。あんなにいいよ、治すぞです。

魅力的な中年おやじが本家船として描かれる。ベネジオン軍に集中しているのも特徴。



「ワオオリジン」で初登場のガルシア。どこかにいいそうなりアルなキャラが魅力的。



三人でセットの三連星。いつも行動と共にする三人だけだがオルテガわかるかな?

はとんと台詞もいろいろの人物のワレン。またの艦隊軍の艦隊です。



ヘルメットにも個性がいっぱい!



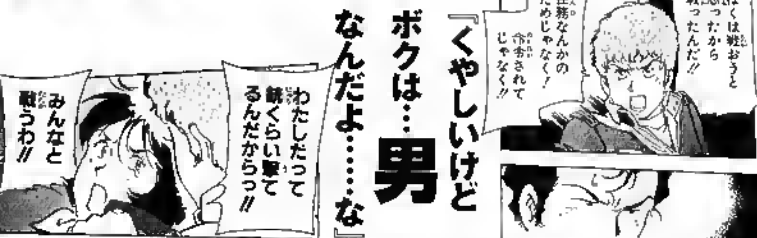
あきらかに顔をもる本家の機能から逃脱しているデザイン?

ジオン軍の方が連邦軍に比べて個人の自由が認められているのか?

安彦
ウラ話

ワレンさん、今回の描き下ろしでもそうなんだけど、愛蔵があるんで、つい芝居を多めにさせてしまってますね。世の中にはこれくらいの手紙、いい味出して、人かたかくないんじゃない? でもアスや漫画だと10代、20代位のキアラはたいていそれから上は母! ぼーっと言ってる老人になっちゃう。魅力的な中年を作品にも表現できるのは、一つのリアルなところなんだよね。





「ここは
ジオンの
勢力圏だ！」

「姉に
対しての
心遣いでも
あるのだろう？」



◀▲WB軍艦はならなかったが、降下軌道を変えさせると成功したシャア。WBはジオンの勢力圏に降下してしまう。連邦の秘密作戦の要となるWBとガンダムは自分の勢力圏に追い込んでくれたシャアにガルマは感謝を述べ、自らWBを止めるために出撃していくのだった。

死の恐怖
初めての戸惑い

大気圏突入状態で艦外に取り残されたアムロは自らの機転とガンダムの性能により、生還することになった。

だが地上に降下したWBはシャアの攻撃により大気圏突入タイミングが遅れてしまったため、ジャブローを大きく通り過ぎ、ジオンの勢力圏に孤立してしまった。

その地はシャアの士官学校時代の友人でありジオン公国公王デギン・ソッド・ザビの末息子ガルマ・ザビ大佐が方面司令を務める地域でもあった。シャアからの連絡を受けたガルマは自らWBを仕留めるべく、攻撃空母ガウでWBに攻撃を仕掛けてきた。

休む間もなく艦内に出撃の命令が響くがアムロは自室に籠もり拒絶する。先の大気圏突入の恐怖に初めてリアルに自分自身の死を感じていたのだった。そんなアムロをブライトは殴りつける。子供じみた反論をするアムロにブライト

は「おまえはシャアだって越えられるヤツと思っていた」と吐き捨てた。

その言葉とフラウの言葉にアムロは自らを奮い立たせ、出撃のために自室を飛び出すのだった。



▲ブライトは自分とは明らかに違う性格と立場のアムロに戸惑っているが、この時アムロを叱咤するブライトには彼に対する無量の期待がにじんでいた。

「アムロ
行きますあす!!」

「くやしいけど
ボクは…男
なんだよ……な」

わたしだって
戦くらい撃て
るんだから!!

みんなと
戦うわ!!

▲恐怖を振り払い、壁をたたきつけ自分を奮い立たせるアムロ。初めて自分の意志で戦いの場に赴くことを決めた重要なシーンといえるだろう。

アムロの
機転は
45度でいい
ですよ
危険
ですから

出ます



『命令するな シャア!』

▲ガルマの予想通りの反応にシャアは通信プラグをそっと抜く。あわよくば、ガルマの戦死を期待しての行動であることは間違いない。しかしシャアのその行動の真意はこの段階では明らかにされていない。



▲現在の自分の立場が自分の部下に統の七光りと思われているのではないかと不安を覚えたことから、ガンダムに執拗な攻撃を繰り返すガルマ。だが想像以上のガンダムの性能に戦慄を覚える。機体の損傷により加速するがその後、救済信号がガウに届かないことに取り乱し、激しく部下を叱責する。

『この化けもの!!』

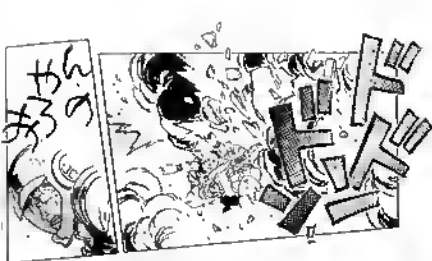
揮いて重力下の戦況とは思えない、モビルスーツの空中戦を展開する。想像以上のガンダムの性能とパイロットの技量に愕然とするガルマだったが、大した戦功も上げずに方面司令となつての自身に対する無りからなんとしてもWBとガンダムを仕留めようとする。そんなガルマの心情を逆撫でするかのようにはシャアは、ガルマを諷めるが、ガルマはシャアの思惑通り忠告を無視してガンダムに立ち向かう。だが返り討ちに合い退散するのだった。

その夜、占領下のロサンセルスのホテルで一息つくシャアの部屋を訪ねたガルマは昼間取り乱した事をシャアに詫げる。自身の家族の問題や自分自身の軍での立場など種々な表情で整理しにシャアに語るガルマ。それは親友として心を許した表情だった。

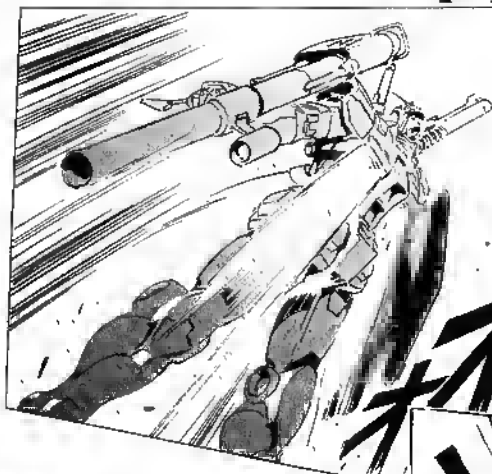
『今日は つきあえよ』



▲シャアに対して御機嫌を聞いて語るガルマ。くつろいだ穏やかな表情を浮かべている。彼は良くも悪くも坊ちゃん貴族で人を見下ろすことを知らない。それがやがて彼を死なせることになる。



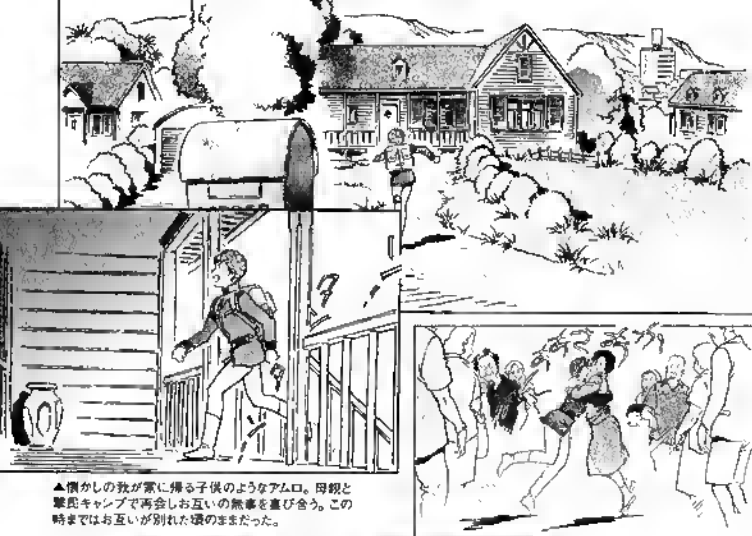
▲地上と空中からの砲火にパニック状態になるカイたち。アムロはショルダーキャノンにランドセルを接続することでバーニアの推力をアップ。バーニアジャンプによる空中戦を仕掛ける。アムロは本人の意思とは裏腹に卓越した戦術センスを見せつけるのだった。



『白いヤツが できました!!』

敵勢力圏 重力下の戦い
初めてのモビルスーツでの地上戦の上に戦闘機と地上部隊からの攻撃に戸惑い苦戦するハヤトやカイ。徐々に追い詰められてしまう寸前、出撃したアムロが状況を覆す。自分から戦うことを選択したアムロは卓越した戦術センスを発



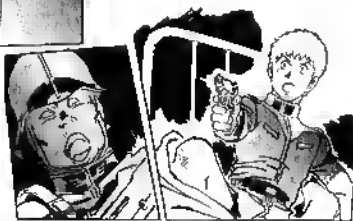


▲懐かしの我が家に帰る子供のようなアムロ。母親と難民キャンプで再会しお互いの無事を喜び合う。この時まではお互いが別れた頃のままだった。

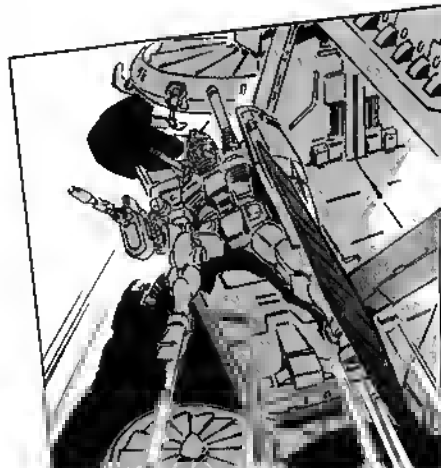


▲モビルスーツ越しではなく生身の相手に銃を撃つアムロ。相手の死。自分の死。その両方の恐怖に母親の制止を振り切り彼は銃を撃ち続けた。そんな息子に驚き嘆く母親。アムロは戦争によってお互いが別れた時のままではなくなってしまったことに気づかなくなったのだった。

『今は……戦争なんだ』



喜び合うが、戦争がお互いの立場を覚えてしまった現実を見せ付けあう結果となってしまう。お互いに傷つけ合った結果、アムロは母親と道を進めることを決意するのだ……



▲避難民を解放するためにWB側は輸送機ガンバニーにガンダムを隠して運搬し、敵を欺く両面作戦を展開しようとしていた。



▲警戒網をかくぐつてWBに合流したデブ輸送機。初めての連邦軍側からの接触にプライトたちは色めきあつたが、その指令自体は現状維持という理解しがいなものだった。その裏には軍事的な思惑が見え隠れするがプライトたちは気がつかない。

『前方に大型機確認!』

戦争の現実
それぞれの想い

危機的状況を切り抜けたWBでは避難民たちの暴動が起つていた。避難民を解放する作戦にでたWBは、湖を越えたところでガルマ隊が布陣して待ち受けていた。その危機を物資補給に合流してきたミデア隊が救うのだった。追撃を振り切り切っかんの休息に入るWB。アムロはすぐ近くに一人住むはすの母を訪ねる。

再会した母子はお互いの無事を

『なにか始まるんじゃないよ』



希望する避難民
三百六名
及び傷病者
五十六名



以上をミデア機に
移乗させます

あと
サラミスの乗員と
リード大尉

「キミの
生まれの
不幸を
呪うがいい」



「木馬が
後ろから!？」

▶ WBを発見したシャアは虚偽の報告で功をあげるガルマを裏にはめる。なぜガルマを殺すのか? シャアの台詞から彼の生業に纏わる恨みであることが窺みとれる。ジオン自体鑛石ではないのだ。



「謀ったなシャア……!!」

◀ シャアに謀られた上にもう助からないと知ったときにガルマは、誇り高きザビ家の公人として、ジオンの軍人として行動するのだった。

ルマに嘘の情報を与え、WBの射線上にガルマをおびき出す。何も知らないWBの全力射撃で操縦不能となったガウのゴックピットにシャアの通信が響く。
親友だと思っていた男の裏切りに愕然とするガルマ。怒りの矛先をどこに向けたらいいのかわからない状況の中、WBに体当たりを決意する。
最後の瞬間までザビ家という重石に綱をしながらも公人として、軍人としてその命を散らしていくのだった……。

安彦
ウラハ



ガルマ編ではアムロが母親と再会するエピソードが好きなという台詞がたぐざんあるよね
カメラアングル的にも気に入っている場面が多いんだ。アニメ版の時からは好きだったんだ。デリアが反動にいいからね



◀ 占領下の有力者たちとの権謀術数で飛び交う政治の世界で出会ったイセリナとの恋にガルマは自分の家と立場を捨てることまでも覚悟していた。この人の良きこそがザビ家とジオンの希望だったのかもしれない。



「私がガウで
しとめる」

▶ 出撃する際のガルマとのやりとりでシャアは何かの決意を固めたのかもしれない。ここでの会話が友人同士としての最後の会話となった。

▲ 占領下の市長としてジオンの顔色をうかがいつつ反ジオン勢力の後援者。したたかな政治家で娘がガルマに恋をかけることを快く思っていない。



突然の裏切り
生死の狭間……

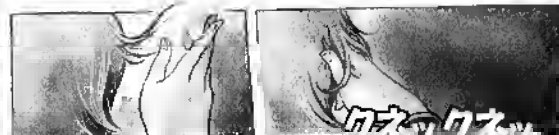
WBは司令部からの指示で占領下のロサンゼルスで抵抗勢力の反抗作戦に参加することになる。
激しい戦闘の最中、シャアはガ

ランズ・ラル編

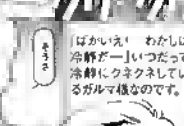
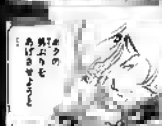
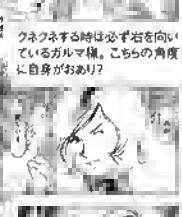
『あ 流れ星!』
『思ったより空気は汚れておらんのかな』



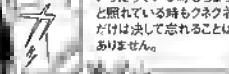
ガルマ様今日も髪型バッチリです!!



ガルマ様といえば髪の毛クネクネ。クネクネといえばガルマ様なのです。ひとさし指と中指で一回つまむのがコツ。



全数えること
19コマ!

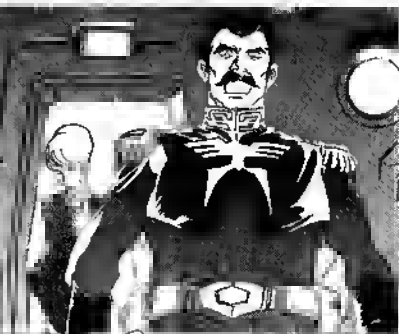


ワオイン





『おもしろいものとは
なんだ!?!』



「ザビ家の
汚券に
かわり
ます」

▲最愛の皇子を喪い深い悲しみにくれるデギンにギレンはその死すらも「戦争」に利用すると伝える。ザビ家の汚券という言葉に刺された個人として存在できない家臣像が浮き彫りになっている。断々と準備されていく、葬式は国葬として社大に執り行われていく。



「ご存知かしら?」
ニュータイプ

という言葉



▲ちょっとしたエスパーのようなものと評された「ニュータイプ」。WBのありえない戦闘結果は、その存在を軍関係者に徐々に浸透させていく。

戦上手の
古参兵

ガルマ戦死の報を受けた公王デギン、ソド・ザビは深い悲しみに包まれていた。国葬の準備が着々と進められ、静かに送ってやりたいと想うデギンの心情とは裏腹にガルマの死は政治的に利用されて行く。

一方、方面司令にしてザビ家の血族が戦死したことでジオン軍の動きが鈍くなった隙にWBは補給と修理を受けていた。

だが、それは連邦の秘密作戦の要として追われる以外に仇として追われることを意味していた。ガルマの兄、ドズルの命を受け、その仇討ち役として送り込まれたのがベテラン軍人、ランバ・ラル率いる部隊であった。

汎用型戦闘艦ザンジバルで地上に降下したランバ・ラルはジオンの新型モビルスーツ、グフを駆りWBに攻撃をかける。どのような船から見極める下見程度のつもりいるランバはその窮乏を露呈する。

『木馬か』

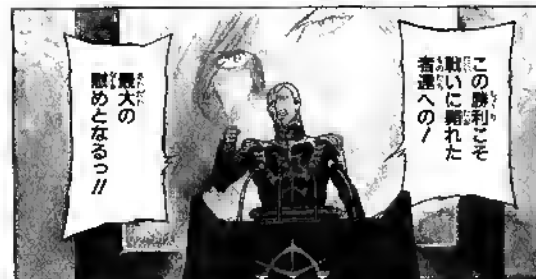


▲その経歴からジオン軍内部では日陰者として扱われたラルは仇討ちという大役に抜擢してくれたドズルに大恩を感じている。彼の経歴は役にその一部が明かされることとなる。

▲ジオンの新型モビルスーツ「グフ」を駆るラル。初めての重力下での戦闘を経験する部下たちに注意を考える台詞などからラルが長く、地球上で生活していたことがうかがえる。



『これが
敵……』



『坊やだからさ』

▲ガルマの死を戦艦高橋に使い替
井するギレン。その光景はあるも
のには脅威に。あるものには滑稽
に映っていた。自衛気味につぶや
くシアの真意は？

『諸君らが愛してくれた
ガルマ・ザビは死んだ！
何故だ！』

と。ガルマがそれほど無邪気で、
無防備でなければ、死なずに、殺さ
ずにすんだのかもしれないという……
それは精一杯の追憶の言葉だ
つたのかも知れない。
TVで声高に叫ぶ「坊や」ではな
いギレンをWBのクルーたちは複雑
な思いで見つめていた。



▲ザフとは別物のモビルスーツの性能に翻弄されるアムロ。いまだガンダム
の能力をすべて引き出すことはできてい
ない。だが、ラルは無理をせず退く。

『見逃して
くれたのか……？』

それは死者を悼むものではなく、
泰えつつある戦争の気運を再び、盛
り上げようとするパフォーマンスで
あった。
ガルマの死を防げなかった彼で軍
を放逐されたシヤアもその放逐を
場末の酒場で見つめていた。
シヤアがつぶやく「坊やだからさ」



初めて意識する
「敵……」

圧倒的な経歴不足に人手の足り
なさ、輸送艦としての武装しかして
いないBの火力不足などを汲み
ていくラル。そのラルの部隊に翻弄
されるアロたち。
その上、新型がまったくザクとは
違うことにアムロは恐怖を感じるの
だった。

とろろ死を意図するアムロに對
し、ラルはあっさりと退いてしまふ。
その見事な引き際、アムロは自
分たちが見逃されたことを強く感
じるのだ……。

帰還したアムロたちを待っていた
のは、ガルマの国葬の模様を伝える
放送だった。



『操縦の手引きは
知っていても
戦い方を知らん』



▲だが乗りこなすだけのアムロを良下すラ。だが彼がモビルスーツに乗って十数日と知ったならなんと戦えるのだろうか。ガがその後、手慣れた彼のおりが多量に成長するアムロに遅れをとることになる。



アムロをガンダムから
降ろすつもりで……



▲ムライにアムロのパイロット
除隊を相対するブライト。この
ことからムライがライのバ
ランス感覚と判断力を信じて
いる事がわかる。

▲パイロット除隊を聞いてしま
ったアムロは差しいショックを受
ける。積極的にがんばろうとし
ていた矢先だけにやるせない気
持ちは爆発する。

『聞いて
いたのか!?』

その会話を聞いてしまったアム
ロは悔しそのあまり、ガンダムを
WBから持ち出してしまふ。

一方、その戦闘で捕虜にしたジ
オン兵に異常に興味を捕縛させ、
まとまり始めていたWBに怪しい
暗雲が立ち込めていた。



▲ガルの死を聞いて泣けるキラシアに不意に
取り引きを持ちかけるシャア。そのためにわざ
と戦術隊に捕まったのだ。いままでも戦術隊を放逐
されていた間にシャブロー攻略の下調べをして
いたという周到な用意を見せる。

『私のカードは
ジャブローの
攻略口』

『お前は
見殺しにした……』



暗躍のシャア
失意のアムロ

思うように進行しない連邦軍本
部シャブロー攻略作戦の視察に地
上に降りたキラシア・ザビはガル
マの死に疑問を抱いていた。その
疑問をキラシアの親衛隊が拘束し
たシャアにぶつける。

だが、のりくらりと白を切る
シャアは逆に軍幕復讐の見返りに
ジャブロー攻略の糸口を提供する
とキラシアに売り込む。

その頃、サンシバルを駆け渡し
たラルは地上駐留部隊からの補給
の約束を反故にされたことを知
る。ジオン公国成立のおり、ジオ
ン・タイクン派に属していたとが
いまだに軍での立場を不利にして
いたのだ。それでも任務を遂行し
ようとするラル。

迎撃に出たアムロは危うく撃破
されそうところをカインに救われ
る。前向きに動き始めていたアム
ロに空回りの感が漂う。

そんなアムロをブライトはガン
ダムから降ろそうと考えていた。

『わしは
仕事屋だ』



おまえのため
でもある

ザビ家に
より近い事らしが
できる

まだ
そのような
ことに
未練が……

▲ラルが現状に満足し
ていないのは、ただハモ
ンと部下からのため。
そのために進んで汚れ
仕事を受けようとして
いた。ラルの男としての生
き様が垣間見える。

赤い彗星を 御存知?



それとも
オレに気が
あるのか?

美人だな

④ ガンダムを持ち逃げしたアムロを責めるクラーにアラウは激昂し、自分もWBを飛び出してしよう。その頃アムロはラルと偶然、出逢っていた。



アムロ 頑張っ てきた じゃない!



アムロが出ていった瞬間
わかったわ!

わたしだって
こんな所に
もあつた



一本
とられ
たな
この小僧に

戦場を離れた敵との出会い
WBを脱走したアムロは、水と食料を求めて、ある酒場に辿りついた。そこでパンと水だけの質素な食事をとっていると、WBを捜索中のランバ・ラルの部隊が現れる。命のやり取りをしたパイロット同士だが、そのことに気づかない二人。

ラルの愛人、ハモンが振舞おうとした食事を「理由がない」と断るアムロ。そんなアムロの一本気な性格をほめたアムロ。二人の間に敵味方を超えた関係が生まれようとしていたその時、アムロを追ってきたはずのフラウが、ラル隊に囚えられ連れてこられてしまう。

マントの下で筆談に手をかけ戦いの覚悟を決めたアムロだったが、ラルはアムロを立ててフラウを解放する。「がんばれ」と励ましの言葉ささげられるラルに、アムロはこれまで持っていた敵へのイメージとは違った何かを感じ始めていた。

ランバ・ラル?



いいか 戦場では こうは いかなぞ

▶ 捕らえられたフラウ。覚悟を決めマントの下で銃を握り締めるアムロ。ラルはアムロの表情を見て取り、フラウを解放するように部下に命ずる。「大人」の深みを見せ付けるラルに敵意以外の何かを感じるアムロ。敵ではない人間同士の貴重な出会い。

「フラウが…… つけられたんだ!」



▲フラウと別れ、砂漠に迷えるアムロの上をモビルスーツがよどる。WBの危機を直感したアムロは考えることなくガンダムに飛び乗る。ついさっき出会った人のことが頭をよどる。解放したのは長だったのかと、何かを感じた自分にいらだつアムロだった。

安彦 ウラ話



ラルみたいな中年の小太りキヤラが主人公のライバルっていうのはあるんじゃないかな。それを歴戦の道でありながら「部下のふたつ」とか「サビ客に近い存在」かできる」とか世間的な台詞をきいたんだよね。そういうところってな。



▶ 白兵戦を仕掛けるラルは善ながらの戦いに
気炎を上げる、生身の相手に敵を撃つ覚悟を
持ちまわらないWBクルーは混乱状態となり
最悪の戦況を経験する。そんな中ブライトはア
ムロとセイラの解放を命じる。



『敵の侵入を
阻止しろ!』



お忘れか!?



▲解放され敵を撃つアムロの危機をブライトが救う。最悪の時は一人でガンダムとともにジャブローへ行けというブライトの言葉で自分が信頼されていたことを初めて気づくアムロ、二人のわだかまりが氷解した瞬間だった。アムロはブライトの責任感を垣間見る。ラルと共通する「真実」的な何かを……。

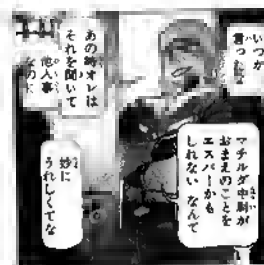
『忠義を欠いた
頼んだ』

◀ セイラの過去を知るラル。二人が主従関係にあったことを垣間見せる。戦いの最中に軍人としての責務を忘れたラルは死を覚悟して手榴弾のピンを抜く。

掴んだセイラは兄の無事を知って涙するのだ。
そんな混乱するW日にモビルスーツを失ったラルが白兵戦を仕掛ける。戦場となった艦内ではラルは、セイラと出会い、激しく動揺する。



▲ラルの姿を認め、自分が心を許した相手が敵だということに何かいちたらのような感情を爆発させるアムロ、グフを撃破するが操縦の腕ではなく機体の性能で勝った辛勝であることを指摘され、さらにいらだつたのだ。



『僕だって戦ったのに!』



▲後周に入られ子供のように暮らすアムロ。同じくセイラも牧場にジオンのスパイ容疑で監視される。疑心暗鬼でばらばらになってゆくWBクルーたち。



『兄さん……』

ラルの過去
セイラの過去
WBの危機に駆けつけたアムロは、なんとグフを撃破した。その際、相手がラルと知り動揺する。帰還したアムロを待っていたのは、当意入りという船割だった。戦争という現実が改めて浮き彫りとなる中、セイラも捕虜に執務に接触したためにスパイ容疑で当意に入れられる。その理由はシヤアが自分の生き別れの兄ではないかという疑惑からの行動だった。当意に入れられながらもシヤアが兄である確信を

ジャブロー編



『ふ ふ…
心配性のような
あなたは』

「ジ・オリジン」で初めて登場に描かれるランバ・ラルの過去。ラル役の重人がなぜジオン軍において冷遇されていたのか。彼の台詞から明らかにされていく。



未練などないが
悔いはある

「ジ・オリジン」で初めて登場に描かれるランバ・ラルの過去。ラル役の重人がなぜジオン軍において冷遇されていたのか。彼の台詞から明らかにされていく。



明かされるラルの過去



ダイクン家に仕えながら、最終的にザビ家側についたラル。忘れていたその事実を死の間際セイラとの再会という形で彼は思い出すのだった。



ラルと
アルティシア

ダイクン家の兄妹

再会

開戦前に生き別れになったシャアとセイラ。戦時下で偶然の再会を果たすが、それは敵対する軍人としての再会であった。ザビ家に復讐を誓う兄とその兄を危惧する妹。今後の新展開が更なるドラマを生み出す。



ラル家とダイクン家
明かされるその関係



◀▲ジャブロー目前でのリマ基地の会議で現地の上官たちはまったく様にならないことが判明する。完全にWBを脱走する能力はなくその質もない。自分たちに被害が及ばないことを考えているらしいのだが、ガンダムとアムロの話がでると奇妙な表情を浮かべるものだった。これは今までの戦績結果と「ニュータイプ」と呼ばれるものに関係があると思われる。結局WBは自力でリマからクスコ、クスコからジャブローを目標とするになりマチルダが同行することになった。

『働いて見せますよ ジャブローなんざ ひとひねりだ』

▼▶地上での情報収集に明け暮れるドムと三連星たち。ザクとは別物のドムの動きと威力下での高速ホバー移動などに慣れ、自分たちの戦闘フォーメーションを組み立てていくことが目的、本人たちは楽しんでしまわないらしい。



憧れの女性の登場に色めき立つまだ年若いWBクルー。
一方、ジオン軍駐留基地にはルウム戦役の猛者、黒い三連星が新型モビルスーツとともにジャブロー攻略作戦のために派遣されていた。WB、ジオンともに徐々にその歩をジャブローに近づけていた。

▶新型モビルスーツ「ドム」を見上げるジオンの戦略拠点のひとつオデッサ基地のマ・クベ司令。ルウム戦役でシャアなどと並んで活躍した准将のチーム、黒い三連星たちも兼任しジャブロー攻略の準備は着々と進行していた。

『ほおお これがMS-09 ドムか』



『マチルダ中尉を お連れしました』

▼演じた美談と今までWBを支えてきたことからか、若いWBクルーの憧れの的となっているマチルダの訪問に沸き返る一同。立ち位置にアムロのナイーブさが表れている。

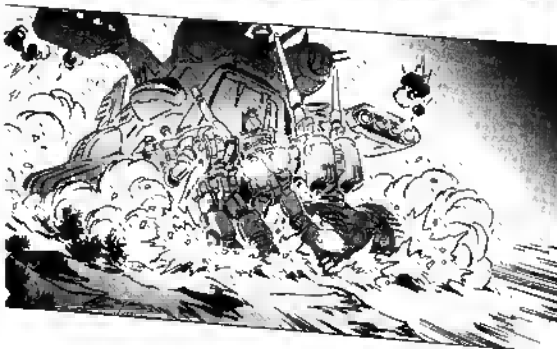


近づくホル
競争は激しく……
ラルの壮絶な戦死で締めくくられた激しい戦闘をくぐり抜け連邦軍のリマ基地にたどり着いたWB。ジャブローまでの水先案内を務めるためにマチルダ中尉が合流する。



『仇を討ちますよ あなたの！』

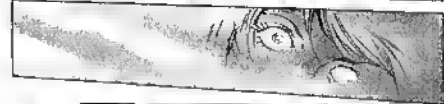
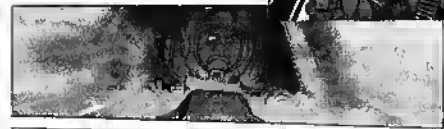
▲ハモンがラルの仇討ちをしようと聞き、駆けつけたタチ中尉。かつてのラルの部下と思われる彼は、彼を守するためにハモンに命を預け、同行し死んでゆく。



仇討ち そして別れ……

ラルの戦死を受け、生き残ったランバ、ラル隊を率いてハモンが本拠を逃げようとするWBに戦を仕掛ける。ジオンの後継者を倒すことなく私闘を挑むハモンにかつて恩恵を寄せていたタチ中尉が協力を申し出るのだった。最初から死を覚悟したハモンたちの攻撃に戸惑うラム口たち。ラルが死んだのは戦争のせいだと叫ぶラム口の声はハモンには届かない。爆薬を満載したギヤロンプを押し止める為、身動きの取れないガンダムにハモンの乗るドンプが迫る。肉薄する殺意が弾けようとする刹那、怪我を隠して出撃していたリュウのコア・ファイターが激突した。リュウの死を嘆くWBクルーだったが激しく号泣するハヤトをラム口が抱りつめる。お互いが自分自身を許せず、やるせなさゆえの抱り合いが続く。

『ほんと……好きだったわ 坊や……』



▲自分が入った少年が愛するものを奪ったジレンマ。半身を失い生きて行けるほど彼女は強くはなかったのだろう。多くの犠牲を払ってでも相手を殺さなくてはならなかった心の揺らぎがわかるシーン。それと対照的なのがリュウ。彼は視界に飛び込んだ状況で速いなく突っ込んでいく。

『俺がリュウさんを殺したようなものです』



安彦 ウラ話

リュウの死がバラバラになりかけていたWB隊を精神的にまとめたあげたんやないかな。これを境にWB隊に急激に仲間意識が芽生えた。今までたまたま生き残る為だけに戦ってきたんだけど、この頃から戦う意義をそれそれが見出していくんだよね。



「敬礼しつつ
しばし黙祷を
ささげよう!!」

4 リュウとマチルダ。その他少なくない犠牲者たちに黙祷を捧げるWBクルー。ジャブローを目前としてのひとつのけじめの行動なのだろう。

「マチルダさん……
マチルダさん……
マチルダさん……」

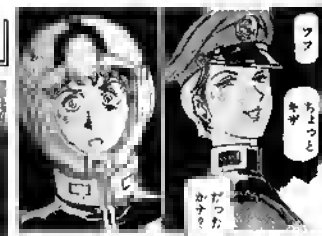
マチルダさん……
マチルダさああん……」

▲死ななくてもよかったはずの人たち。でも彼らのおかげで自分たちは生き残っている。憎れた人を守れなかった後悔に押しつぶされそうになるアムロ。そしてそれを見つめるフラウ。複雑なその表情は自分が女として男を支えられないことを感じてい

WBはジオンの勢力圏を抜けることに成功する。
万感の想いを込めたWB甲板上で黙祷を捧げるアムロたちの眼下には熱帯雨林特有の広大な緑が広がっていた。
辿り着いた連邦軍司令部ジャブロー。そこに辿り着くことで、この状況は好転するのだろうか……。

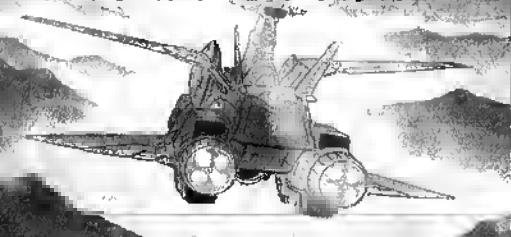
「命の渴きを癒す……
っていうか……」

ジャブローを目前にハモンの攻撃で動けなくなったWBを救援にマチルダが戻ってくるが夜を徹した修理の合間に黒い三連星に捕獲されてしまった。暴走がWBに迫った時、マチルダがミデア機をドムとWBの間に送り込ませるのだった。



「あ
白いのを
やれ!!」

更なる犠牲
辿り着いた地
失意に包まれるWBだが、目的地のジャブローが近づき、連邦軍本部はWB受け入れのために大規模な機動作戦を決定する。
今までの何のリアクションも無かった連邦軍の思いもよらない援隊に見捨てられていなかったことを喜ぶフラウ。
だがジャブロー攻撃戦にそなえ地上での慣熟演習を行っていた黒い三連星に捕獲されてしまった。
新型モビルスーツ、ドムの性能とパイロットのテクニクに迫り込まれていくWBとアムロたち。
なんとしてもWBをジャブローに送り着かせようとマチルダはミデアをその戦場に割り込ませる。
戦いの流れを強引に変え、アムロに勝機を与えることに成功するが、引き換えにマチルダは帰らぬ人となってしまう。
戦闘中にマチルダの気配が弾け飛ぶ奇妙な感覚に包まれるアムロ。多くの人々の犠牲に後押しされ





幸村誠
MAKOTO YUKIMURA

PROFILE

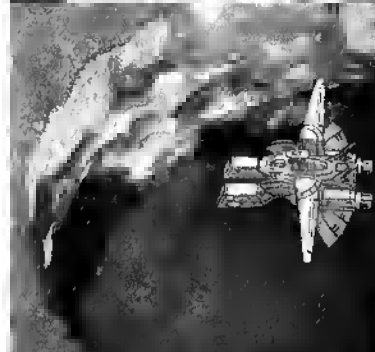
1999年週刊「モーニング」に「フラネテス」を発表しデビュー。第一話が終了し、第二話の再開が期待されている。同作品は2003年にアニメ化もされる。現在新作の連載に向けて、準備に追われている。大のガンダムファン

今後の展開を見逃すな!

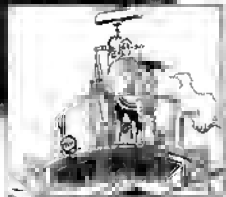
ワオ
イン
ドン

ジャブロー=到着でも
物語はまだ折り返し

サイド7からの長き旅路の末、目的地である連邦軍本部ジャブローにたどり着いたWB。しかしジャブロー到着は一つの命令を遂行しただけであり、彼らの戦いの終わりを意味しない、更なる試験がWB隊を待っているのだ。



ジャブローに着いても彼らに安眠は訪れず。ジオン軍のジャブロー総攻撃の準備が進められ、さらにWBの宿敵である「奴」が帰ってきたのが、しかし連邦軍も戦局を変えうる新たな兵器を開発していた。戦いは予断を許さない。



安彦
ウラハ

[illegible]

LOS ANGELES ロサンゼルス
ガルマ軍 SECTION IV
シャアの戦場でガルマが戦死した

LAKE MEAD ミード湖
● ガルマ軍 SECTION III
民間人を殺すために軍用バス

CARACAS カラカス
-ランバラル軍 EXTRA SECTION
シャアが眠らされていた所

JABURO ジャブロー
ジャブロー軍 SECTION V
やっと地球連邦軍本部に到着

URUBAMBA アンブレラ
ジャブロー軍 SECTION III, IV
ハモンに特攻をかけてリュウが戦死
トムに特攻をかけてマサダも戦死

● CUZCO クスコ

ランバラル軍 SECTION VII
ランバラル戦死

図：村松智広 RIMA リマ

地球

大気圏突入のタイミングをシャアに
くわされたWBはジャブローから6千
キロ離れたジオン勢力圏に降りてし
まう。ガルマ、ランバラル、風見三連
艦一。様々な戦と遭遇しつつもこれ
をことごとく撃破し、多大な犠牲をは
らいながらついに目的地地球連邦
軍本部ジャブローに到着する。

ジ・オリジン 南米大陸 ルート

ジ・オリジン 宇宙ルート



ホワイトベース航路図

サイド7の平和はジオン軍ザク隊の増入により突如崩壊する。そしてそれは連邦軍WB隊の長
く厳しい航路の始まりだった。サイド7からジャブローまでのWB隊の航路をここにまとめる。

ルナツー

連邦軍の宇宙における格闘
司令部的な役割をもつ小惑星
要塞。サイド7を脱出したWB
はシャア隊の攻撃をふりま
り入港を果す。しかしWBに
集まる遊撃兵はルナツーに
降りることを許されず、連邦
軍本部のある南米ジャブロー
一行を命ぜられる。



サイド7

月軌道の外側に位置するスペースコロニー。人々の暮らしが都市ブロックとは別に
連邦軍の軍事施設が建てられており、そこ
で新型MSの開発、実験を行っていた。
ジオン軍のシャア少佐はこの秘密作戦
を確認し、サイド7にザクを潜入させ、
民間人アムロ・レイは新型MSガンダム
に搭乗し、ザク隊を撃破、WBとともに
サイド7を脱出する。

大気圏

WBの地球大気圏突入
のタイミングをねらって
シャアは攻撃をしかけて
きた。ガンダムはこれを
撃破し、さらに撃破で地
球面に降りてみた。

安彦 ウラ話



「ジ・オリジン」を企画した当時から
「アムロガンダム」からの細かいアレ
ンはいつも加えていたんだけど、W
Bが地球に降りてからの航路変更
は読者の方にも気づいて欲しいとこ
ろですね。どんな作品でもそうだと
思ってたけどストーリーの浮遊感
というのは、行けるところまで
なんとか歩いて乗りこえていける
んだよね。でもそうじゃなく中盤は
さしてくる。ストーリーが迷走し
ちゃうケースが多いんだ。

「ジ・オリジン」ではガンダムとい
う作品をもっとわかりやすく再生
する、という狙いもあるわけだから
中盤の展開をもっとダイレクトにし
たかった。地球に降りてからの最終
目的地がジャブローになります。シャ
アローに向かわせようと思ってたん
です。当時の目的に高いところ、そ
の後オチササ作戦とかそういう話を
拾って、うまいことまとめたいん
です。いすれにしてもジャブロー
への戦いが今後の戦局の大きな転
換になることは間違いないです。

ジオン公園 (サイド3)

地球から最も遠い位置に存
在するスペースコロニー群サ
イド3、デギン、ザビのもとジ
オン公園を名乗り、地球連
邦政府に独立戦争を仕掛け
る。連邦軍に先駆け人型
機動兵器MSザクを開発し
戦争を有利にする。



朝のガンダム

トニーたけざき



は ■ノーマルスーツ
連邦軍は色違い程度でバリエーションが少なく、個性を圖んじることが出来ず、マサースの改造もバリバリでなすことで、赤い人なんて一体その角はなんなんだ的なデザインのもを常用。士官学校で最ランやボンタンが許されているかどうかは定かではない。

■兵器の支度
サイド7偵察のため飛速が速れたシヤを上官であるトスル中尉は「戦家の支度は全部ムダになったんだぞ」と責める。作戦終了の要だつたらしいけど、シヤに教えないでびくりにさせようとしたのかと思うと、あの顔でカワイイところもあるもんだ。



な ■100%の現状
補給中のシヤに攻撃をしかけるためにガンダムその出動をアムロに命じたリットだが、あつかいに不満を感じたアムロにたたくに断られてしまふ。その隙に現れた捨て台詞がこれを機会にガンダムは100%の整備状態にしてあげ。整えという立場を忘れたその子供チラウなパーセニアに、ブライトへ「アムロはそれなりに納得した感じ。」

ま ■マコムサイ
Wコムを装着したムサイは、全体のバランスが悪いと嘆く。ドレンがつけた魔術。うーん、ちがいのわかる男。

■問題のある男
セーラがアムロに、ジャブローの研究所から支給した向精神薬を説明するのに使った言葉。まるで子供に言い聞かせるみたいだけど、アムロはそれなりに納得した感じ。



や ■厄介な男
ザビ家という血筋に生まれたことをグチるガルマに對抗しての台詞。厄介なのはお前の性格だと、宇宙世紀までソコでやりたし気持ちでいます。

5 ■ルウム戦役での悪事を思い出させてやる
ルウム戦役でレビル司令官を捕縛、拉致したガイアだけに戦術力がある。ガイアにしてみれば、インメられてひきこもっちゃたレビル様のお家に遊びに行くようなもん。

わ ■若き故郷のあやまち
「認めたくないものだが、自分自身の若き故郷のあやまちというものを。」手柄をたてよつとしたら、ザクを3機も撃破されたアムロの嘆息。要は「うわ、やつちやつたよ、現実逃避、責任転嫁して」という意味なんだけど、これだけカッコよく言えるのは立派な才能だろ。





THE MAKING OF THE ORIGIN

メイキング オブ ジ・オリジン



安彦先生の仕事場におじゃましました!

**この部屋で
「ジ・オリジン」は
生まれる!**



▲ペン入れ中の先生。ペン入れはほとんど面相筆(下部写真)1本で行うというから驚きだ。



▲写真の机は安彦先生がアニメーター時代から愛用しているもの。
下から光をあてて原稿が見やすくなるトレス台を使っている。



▲別室にて編集者と打ち合わせ中。新しいキャラクターがここから誕生することも!?
打ち合わせ後のコービーがおいしい。



▲左側に写っているぶ厚い本は皆川ゆか氏編纂の「機動戦士ガンダム公式百科事典」。「ジ・オリジン」執筆の必需品の一つだ。

安彦先生が愛用している面相筆(実物大 1本約200円)



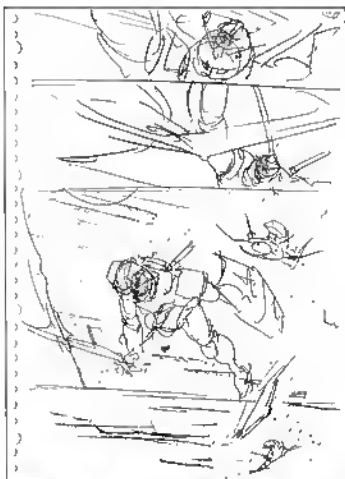
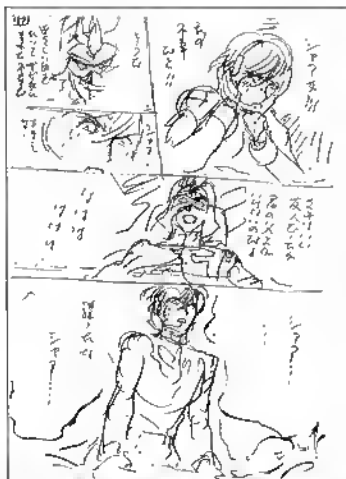
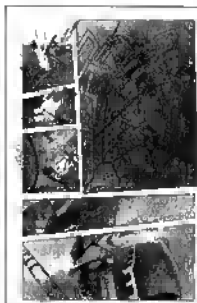
全ての原稿はここで生まれる。花粉や虫に邪魔されたって都心から遠くたって、先生にとりてはここが一番落ち着く場所。

ネームでわかる『安彦タッチ』の凄さ!

※ネーム一話の流れをおおまかな線で描く下書き作業

鉛筆線から見える その「神技」

安彦先生が「ジ・オリジン」の連載を始めるにあたり、おおまかな展開や構図をノートに鉛筆を使って描いたネームを大公開。一見急いで描きそったかのような線だが、その線の一つ一つが実に柔らかに洗練された線であることが見てとれるはずだ。実はこの滑らかな鉛筆線の運びこそ、いわゆる「安彦タッチ」なのである。

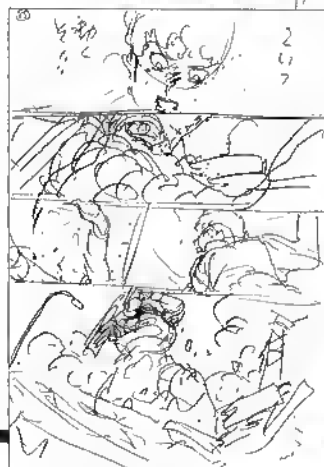


「ジ・オリジン」の設計図を大公開!!



やみよらかな線から うまれる 「安彦タッチ」

線の本一本が滑らかでかつ勢いを持っている。これは大量の面数をこなさなければならないアニメーター時代に養った技術でもある。連載開始前には既にガルマの戦士あたりまではネームが描かれていたというから驚きだ。



▲入院中のノートに描かれたネーム
(左側の丸い穴はルーズリーフの穴)



安彦良和インタビュー

INTERVIEW WITH
YOSHIKAZU YASUHIKO

安彦良和

PROFILE

1947年北海道紋別郡遠軽町に生まれる。手塚治虫の「虫プロ」でアニメーターになった後、フリーに。「宇宙戦艦ヤマト」「機動戦士ガンダム」などの一大ブームを起こしたアニメ作品に主要スタッフとして参加する。1979年「アリオン」で漫画家デビュー。卓越した画力と構成力で人気を得る。

ラフからより細かな「下書き」へ

より精密さを増す鉛筆線

ここではネームより一歩進んだ、ペン入れ前の下書きラフ原稿を紹介。より線が緻密になっているのが見てとれる。ペン入れ前なのだからここまで細かく描く必要もないように思われるが、先生によると鉛筆画でこの程度描き込むことはあまり時間のかからない作業だという。むしろペン入れにかなりの時間が必要らしい。その繊細な「安彦タッチ」を堪能して欲しい。



本画カバライラストの下書き



安彦ウラ話

ネームはね、ノリでえづかめばそんなに時間はかからないですわ。ネーム流めばそんなに楽なことはないんだけどさ。ペン入れが一番大変な作業だね。僕の場合、基本的に全部まで描いてるからなかなかカッチリとした線がでないんだよね。なんとか兵衛の無機質な感じを並で出しなきゃいけないけど、それをカッチリとした線の描けるトニー（たけぎ）さんがハロイにしてイジワルするわけ、あんなの絵は「うな」の（て）（て）

読み手の想像力を刺激する それがマンガの本質だと思っんです

——そもそも『ジ・オリジン』を描くことになったきっかけというのは、どういったものだったんでしょうか。

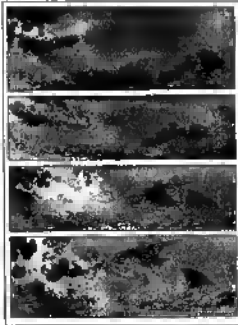
安彦 5、6年くらい前からサンライズの吉井社長に、アメリカ向けにガンダムのマンガを描かないかと言われていたんです。「ガンダム」というのは、こういう世界で、こういう話なんだよというのをマンガで見せたい、ということ。最初は断っていたんですが、ガンダム20周年の頃にそろそろ描いてもいいんじゃないか、と思い始めた矢先に肺炎で入院しちゃったんですね。それで、やっぱりダメかな、とか考えたんですが、病院でやることがないから、ネームを切り始めたんです。そうしたら思いのほか上がって、その時点でガルス編くらいまでできたのかな。それで、これなら

イケるかな、と、出してくれる出版社を探し始めたんですね。

——安彦さんはもととアニメの「ガンダム」に作画監督、キャラクターデザインとして参加されていますが、今回「ジ・オリジン」でマンガ家として、新たに「ガンダム」を描く時、どういった違いがあるものなのでしょうか？

安彦 それは「ジ・オリジン」で、というより、「アリオ」でマンガ家としてデビューした時の話になるんだけど、最初は僕も絵コンテの延長と思って引き受けたんだよね。そしたら似て非なる部分がいっぱいあることを実感した。実はマンガって音も入っていない、色もついてない、非常に情報量の少ない表現方法なんです。けど、だからこそ想像力が喚起されて、読み手が補完してくれる。

動きを表現されてますね。大河原(邦男)さんも、安彦さんの絵は止まっているのに動いて見えるとおっしゃってました。あまり動線を描かないタッチなのに、これはすごいことだと思うのですが。



安彦 それは、やっぱりまだカメラを固定して見るというアニメーター気質が残っているのかもしれないですね。あと、ここに一拍、間が欲しいという時間

感覚とか、そういう前庭からくる作風については、それが個性みたいなものにならばいいなあ、と。動線を描かないのは、あまり好きじゃないのと、最近の動線はCGや曲線を使ったりしてキレイじゃないですか。僕の汚い動線入れるとかえってヤバイなって思っちゃうんですね。

——そんなことはないでしょう。

安彦 いやいや、やっぱり筆で描いているから、どうしてもシャープな線にならないんで。おまけに「ガンダムエース」って、あつかってる題材が同じだから、一掃に載ってるみなさんの絵との差が露骨に出ちゃうんだ。それで自分にしてはかなりシャープに描いたと思っても、載った雑誌を見ていつも落ち込んでいます。



それがマンガというメディアが、これまで支持されて、たぶん今後もあるであろう理由だと思っんです。細かいところでは、例えば流れとして見た時、邪魔にならないように、ガンダムの機体のトーンをカットによってあえて使ったり使わなかったりとか。もちろん構図とかコマ割もあるんだけど、要はかにかして読み手の想像力をくすぐるかが、マンガの本筋ではないかと。そうやって「アリオ」以降、少しずつ絵コンテの延長から離れてきたんだけど、それは端から見ても分かるらしくて、昔「なんだ普通の漫画家になりやがった、つまらない」と言われたこともありましたけど、嬉しいような悲しいような。ガルスがホワイトベースに特攻するシーンなど、1ページまるまる同じ構図で

——Gペンとかは使わないんですか？

安彦 全部筆ですね。最初の頃はロッキングなんか使ったんだけど、いまはほとんど筆。ただこれだと背景とかの直線が引けないんだ。いまはもうあきらめて、これでやるしかないと思ってるけど、昔「機組タイフーン」で函館の街を舞台にした時は、筆で実際の風景を描きこむのはちょっと厳しいとわかったんで、あんまり背景を描きこまないようにしたんだよね。そうしたら今度は実際の町が持つ切実感がなくなっちゃった。耐えられなくなっちゃった。幸いガンダムは、別に実物があるわけじゃないから、いい加減でもいいやつで割切って(笑)、筆一本でやらせていただいています。

あくまでテレビ版の「ガンダム」を 僕なりに補完、補強する思いでやっています



『機組タイフーン』①巻より
メデアファクトリーから
文庫版で発売中。
©2004 Yoshikazu Yasuhiko
©2004 MEDIA FACTORY, INC.

INTERVIEW WITH YOSHIKAZU YASUHIKO



—テレビ版の第一話の構成は「完璧」と言われることも多いのですが、リメイクするにあたり、どのように感じましたか？

安彦 完璧とは言わないけど、やっぱりよくできてるよね。「ガンダム」の世界つてのは、すぐには理解できない設定だと思っただ。コロニーの生活があつてとか、それをいかにも説明して感じじやなく、ドラマから入って、キャラクタの生活とか、置かれている状況とか考え方とかを順に拾っていくって。これはすこし難しいことなんです。だから、これを基にして補強すればかなりいい物ができると思いました。やっぱりいま見直しても、この星山(博之)さんのシナリオはいいですよ。

星山博之は元々ガンダムのイメージが強い人、そのイメージが作品に反映しているように感じます。

の極秘ぶりを描くことで、それを見破ってザクを偵察に送ったシャアの有能さも補強されるのではないかと。

—クスコでルウム戦役が語られますが、これもアニメ版では触れられない部分です。なぜか。

安彦 これは裏設定ですけど、もう周知の事実となっているようですから「ジ・オリジン」で取り上げてもいいんじゃないか、と思っただけです。今度描く外伝では、この辺りのことに触れるかもしれないし、今度描く予定の外伝という



—ただ、アムロがガンダムのマニュアルを拾って読む代わりに、事前に父親のパソコンからデータを読み出していたり、微妙なアレンジは加えていますよね。



安彦 それはやはり20年以上前の作品ですから、当時のお約束事やいろんな事情でそうとしか描きえなかったことはあるわけです。幸い僕は当事者の一人でもあるんで、そういうまいに合合わない部分を変えるくらいは許されるんじゃないかと(笑)。変えるといつても、

のは、シャアとセイラの話なんです。シャアはおとなしくしていれば、かなりの地位に昇れたはずの男なのに、あそこまで仕様に、ある意味自分の破壊も願みず、ザビ家を根絶やしにしようとした執念というのは、一体なんなんだろう、と。

—デギンに父であるダイクンを殺されたらしい、というのは知られてますけど、当時のあの兄妹について詳しく記されているものは、確かにありませんからね。もっともそれができるのは、当事者である富野(由悠季)監督か、安彦さんだけだと思います。

安彦 セイラとランバ、ラルの会話から、ラル家がこの二人を逃がすのに関

僕は最初のガンダムがすごく好きなんです、あくまで補強とか補完程度なんですけど。

—マンガでは連邦軍の不品行が強調されているように思えますが。

安彦 テレビでも連邦軍には視聴者があまり肩入れできないようにはなっていましたけど、やっぱり作り手もなぜかジオンの側に思い入れしていたんで。例えば、戦時下とはいえ居住用のコロニーで、極秘で新兵器の実験をしたり、民間人のための補給艦と称して自軍の戦艦を派遣しているわけですから、それはやはり卑劣でしょう。

—その辺りが「ジ・オリジン」では、かなり丁寧に描かれていますね。

安彦 だから、最初があんなに長くなっちゃった(笑)。けど、そうしたV作戦

わったであらうことはわかんんです。だからいまでも「ジ・オリジン」の親分みたいなことをやっているけど、実はいい家柄だったんでしょ。世が世なら階級ももつと上でマクベ級になつてもいいような。そういう辺りも含めて一年戦争前史みたいなものをシャアとセイラを軸に描ければ、実は連載当初から思ってたんです。

—それは一説者としても非常に楽しみです。本編もようやく折り返し地点にさしかかっていますので、ぜひ完結までお体に気をつけて頑張ってください。

安彦 ありがとうございます。

(2004年6月インタビュー)

戦争前史やシャアの過去
これまで明らかにされなかった部分も
今後は描いていきたい

[THE ORIGIN] IN THE WORLD

世界で読まれる 「THE ORIGIN」

「ジ・オリジン」は日本という枠を超えて現在世界に進出中！
ここでは様々な言語で読まれる海外版「ジ・オリジン」を紹介しよう！ 外国語学習にも役立つぞ！

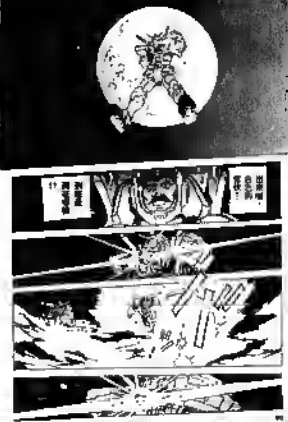
北米版「ジ・オリジン」

台詞や擬音は当然英語で表現されています。宇宙世紀の共通語は恐らく英語だろうし、安藤先生のペンタッチもアメリカンコミック風なので英語が良く似合います。



台湾版「ジ・オリジン」

漢字の原。擬音の中には日本語のままのものも多い。これは現在台湾が日本文化ブームで日本語の文字デザインがカッコいいと思われているため、あえて修正していないのだ。



韓国版「ジ・オリジン」

日本同様漫画文化が盛んでいる韓国は擬音のハングルへの修正も丁寧だ。ちなみに韓国版コミックはガンダムマスターズ連載時にカラーで掲載されたものがそのままカラーで収録されている。



今後はヨーロッパにも進出予定！

「ニュータイプ」

「ニュータイプ」といえばガンダムとは切り離せない単語。英語でもニュータイプのようにですね。台湾版では新人類。ちなみにマシルタさんがアムロに「あなたはエスパーかもしれない」と言った「エスパー」は英語ではESP、台湾版では超能力者と訳されていました。



海外旅行で使える
「ジ・オリジン英会話」
～水をください編～

工程实例

「水 のませてくださいませんか？」
[MAY I HAVE SOME WATER?]



● 2015年10月1日

「水だ! まず美味しい水をくれ!」
「WATER! GET ME
SOME ICE COLD WATER!

世界に広げよう「ジ・オリジン」

様々な国で読まれる「ジ・オリジン」。ここではシチュエーション別に使える「ジ・オリジン」会話を集めました。

会話集

様々な国で読まれる「ジ・オリジン」。ここではシチュエーション別に使える「ジ・オリジン」会話を集めました。

愛の表現

占領下で揺られるガルマとイセリナの許されぬ恋 その愛情表現
も各国さまざまなようです 日本語では「好きです お側にいたい
いつまでも…」でした



放送禁止？用語

戦時下の極限状況では感情を隠さずにぶつけるタイプの人な表現も多いようです。各国のいわゆるスラングをちよつと紹介。台湾版は大きな虫を便して感情表現しているのでしょうか？



イエス

ローマ帝国に占領されたユダヤの地を舞台に、イエス・キリストの人間像が彼の弟子ヨシユアの回想によって語られる。NHK出版より全2巻(1997年発行)で発売中。

我が名はネロ

暴君の名で呼ばれるローマ皇帝ネロ。ネロの多面的な人間像がさまざまな軌跡を通して明らかにされていく。

文芸春秋社より全2巻(1998年発行)で発売中。



王道の狗

日清戦争前後——ひたむきに真実をつかもうとする青年、加納周助の苦悩を描いた歴史ロマン。

ミスターマガジンKC(講談社)より全6巻で発売中。

マラヤ

近代文明が滅亡した遠未来の地球——男女が別れて暮らす世界を舞台にしたヒロイックファンタジー。

電撃コミックスEX(メディアワークス)より全4巻発売中。(オールカラー版)



紅組タイフーン

現代社会を舞台に、国際的陰謀の渦中に投げ込まれた高校生の実験アクションロマンが展開する。

メディアファクトリーより全4巻で発売中。現在は同社から文庫版も発売中。

蜚の王

「ナムジ」「神武」に続く出雲系古代史ロマン。主人公野見宿禰は家族を守るため、生死をかけた戦いに挑む。

モーニングKCデラックス(講談社)より発売中。



「漫画家」安彦良和の世界

安彦良和の漫画家としてのデビューは1979年の「アリオン」。1986年には同作品を創想用アニメとして監督する。その後歴史を題材にした作品を中心に活躍し、「ナムジ」で日本漫画家協会優秀賞を、「王道の狗」で文化庁メディア芸術祭優秀賞を受賞する。



アリオン

ギリシャ神話を題材に、神々とされてきた人々を人間くさい存在として描いた冒険ファンタジー作品。

アニメージュコミックス(徳間書店)から全5巻。全4巻に再編された中公文庫版(写真)も発売中。

ナムジ・神武

古事記に伝えられる物語を、二世紀後半の卑弥呼の時代に起きた古代国家間の歴史的事件として描いた長編作。

中公文庫コミック版(中央公論新社)より各4巻で発売中。



虹色のトロツキ

昭和13年、日本が中国東北地区に設立した傀儡国家「満州国」を舞台にした真実物語。中公文庫コミック版(中央公論新社)より全8巻で発売中。

ジャンヌ

英国との百年戦争が続く15世紀のフランス。英雄とされたジャンヌ・ダルクの生涯は、何だったのかを追体験していく物語。

NHK出版より全1巻に含まれた新装版(2002年発行)が発売中。



驚きと期待に満ちた ＜起源＞の再生

文・氷川竜介

再生への期待に満ちた ガンダムのマンガ化

「機動戦士ガンダム ジ・オリジン」が初めて世の中に姿を見せたのは、雑誌ガンダムエース新刊直前、雑誌「月刊ニュータイプ」2001年6月号の記事であった。その誌面構成を担当させていたたきとが、筆者がかなり気を配っていたことが、自分の企画を見たときの感情を余さず再現する……その一点である。その感情とは、驚愕と歓喜、何よりも「これから何かが始まる」という期待と予感であった。

それは単なる新作が始まるという期待ではない。見慣れたはずのものが新しいものに生まれ変わる、再生への期待である。その感懐は、本作が好評をもつて受け入れられ、連載が9.3年を超えた現在にも変わることにはない。

「安彦良和がガンダムをマンガ化する」というプロジェクトの成功とは、さまざまな古い枠組みを材にして活活性化させる「21世紀の奇跡」の

象徴ではないかという思いが強い。なぜそこまで深い意味性を感じるのか。ここで少し掘り下げて述べておきたい。

困難な映像作品のマンガ化 と安彦良和の個性

映画やテレビ映像の「コミカライズ」作品が出版されるようになって久しい。多くの場合、作者はオリジナル作品とは独立したマンガ作家であることが多い。その場合「翻案」に近い別ものとなることも少なくない。そのくせ映像作品からの変換作業は難しいとされている。

ところが「ジ・オリジン」は、その変換がうまく行っていると感じることが多い。また、マンガが独自で好きに描いているというわけでもなく、だからと言ってアニメ版べつたりでもなく、独自性と従属性のバランスが、非常に優れている。高い価値にまで昇華している。いったいなぜなのだろうか。

「ジ・オリジン」では、たとえばガンダムの射撃ポーズなど非常に印象的で格好良き頂点となる画面を静止させ、そのアクションとリアクションをいかにいかにひらいて動きを感じさせるコマを描き重ねている。さらに、絵の大小や描き込みの有無、構図と方向性による視点誘導で、かなり実時間を感じさせるコマ運びをしており、その線画に読者の呼吸を引き込んでいく。

まさにフルムチックな感動である。その味わいを含めて、オリジナルの「ガンダム」が理想的なマンガへ変換された作品なのである。

歴史の年輪を経て 深まるガンダムの味

アニメ「機動戦士ガンダム」は、20数年間の風雲を経て生き延び、何度となく語り直されてきた。そのいう視点で改めて見直すと、時刻は未来ではあるが、宇宙世紀の物語と同様の大河の歴史観に通じる

絵的には、もちろん作者の安彦良和がアニメ版のオリジナルスタッフであることが大きい。キャラクターデザイン、作画監督、アニメーションディレクターと、複数の役職名でアニメ版「機動戦士ガンダム」のTVシリーズと劇場三部作に参加した安彦は、その経つりの根幹に関わっている。だから、そのスキルを持った安彦良和自身が描ける、絵的な完全なマンガ変換ができるはず……と、話はそんなに単純ではない。それだけに、やはり形だけのものとなってしまはずだ。

「ジ・オリジン」は、ガンダムを現場で熟知し、アムロの成長物語として愛してきた安彦良和が、作品に思いつく「魂の機軸」を見つめ直し、マンガ家として培ってきた技術によって、現代に通じる最新作として再構築した作品である。そこにはオリジナル以来の気持ちの連綿が存在し、アニメ以来ずっとガンダムを愛し続けて来たファンたちの気持ちと響きあひながらも、さらなる高みを目標とするという意欲が感

じられる。それこそが最重要なのである。

「オリジン（起源）」という副題がついているのは伊達ではない。それはガンダムの源流に極めて近い安彦良和自身が語り直すことで、ファンもまた自身のガンダム熱のオリジンを再確認するという、価値観の原点の再発見を意味しているのである。

マンガとしての ジ・オリジンの魅力

さて、「ジ・オリジン」のマンガとしての具体的な魅力について述べて行こう。

安彦良和は、ちょうど「ガンダム」のTV放映時に雑誌「リウウ」(徳間書店、現在休刊)に連載された「アリオ」でマンガ家としてデビュー。面相筆を使った独特のタッチは、大評判となった。1980年代末からはマンガ家専業となり、主に歴史上の事件や人間に材をつけた力作を多数発表。マンガを描くスキルを磨

ものが、現実世界でもひとつ貴から始めてみる。だからこそ、四半世紀の年輪が作品に加わったとき、まさに安彦良和が描くにふさわしい歴史的な背景を持つ題材として浮上してきたさまざまなアレレンジも、そうした大局の視点に置かれていよう。同じ歳月が、読者の側にも同じように流れている。この熟成の感覚は、送り手と受け手の新たな共鳴をもたらすものなのだ。読者の望むところにたどり着くだけでなく、良い意味での裏切りが読者を驚かせる。本質は押さえながら、細部はアニメ制作当時のさまざまな制約を超えて、「ジ・オリジン」独特のアレンジが加わっていき、安彦良和の味は濃くなる一方だ。もはや古典型といつある「ガンダム」は、これから安彦良和はどんな切り口で料理し、読者こそへ運んでいくのだろうか。まだまだ最終回までは長い。ゴールまで充分に楽しめようである。

機動戦士ガンダム THE ORIGIN 公式ガイドブック

特別描き下ろし

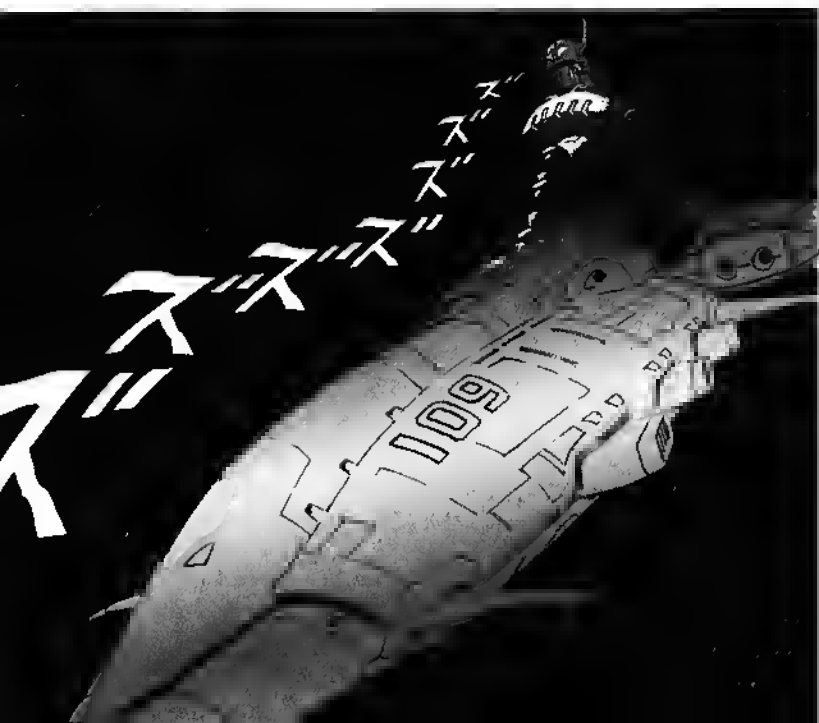
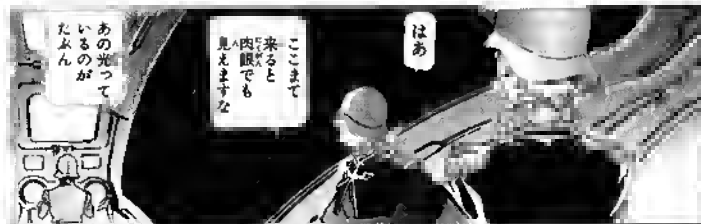
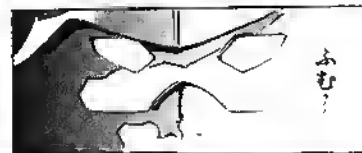
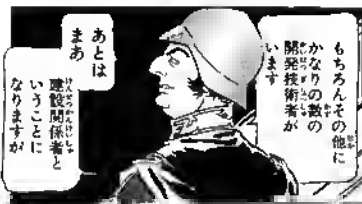
『その前夜』

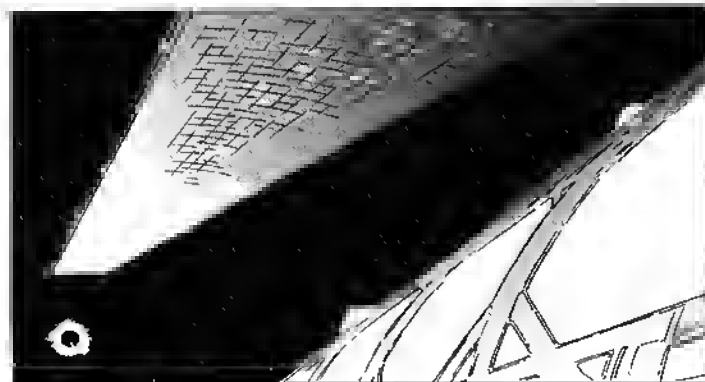
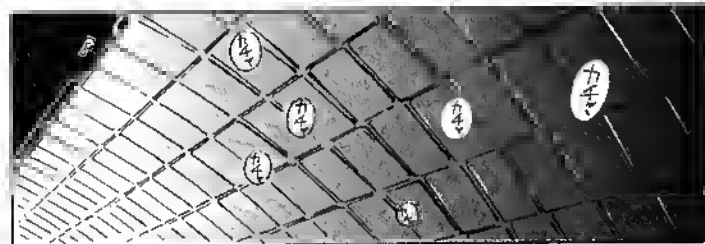
木馬は
慣性航行に
入りました

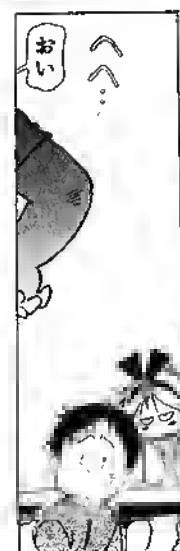
まもなく
サイド7の
管制区域
です

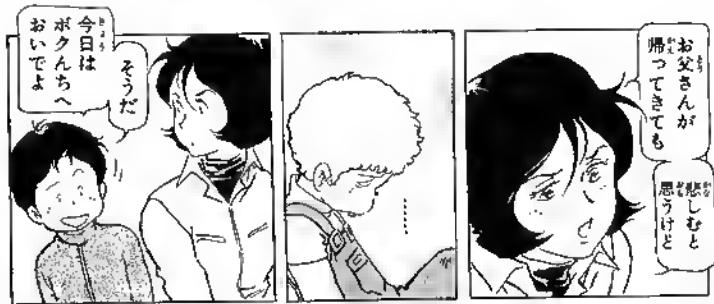
この物語は
「機動戦士ガンダム THE ORIGIN」1巻 始動編 へと
つながるプロローグである。

シャア率いるザク隊のサイド7への潜入
すべての発端となったこの作戦の、
かつて誰も知りえなかった その前夜 が安彦良和の手により、
いま初めて明らかにされる。



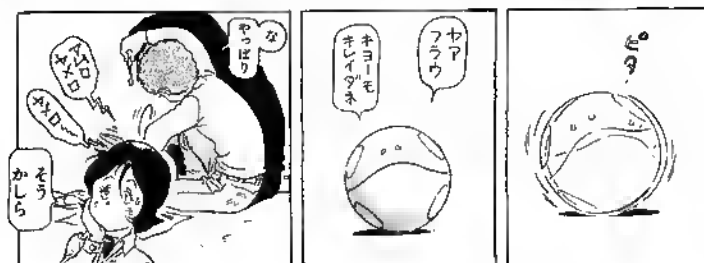
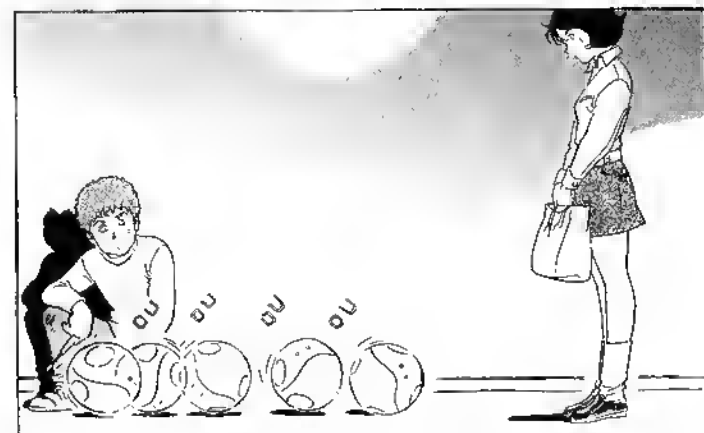




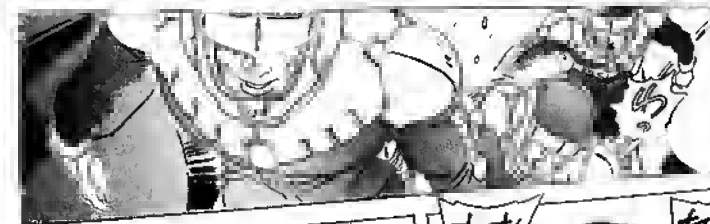
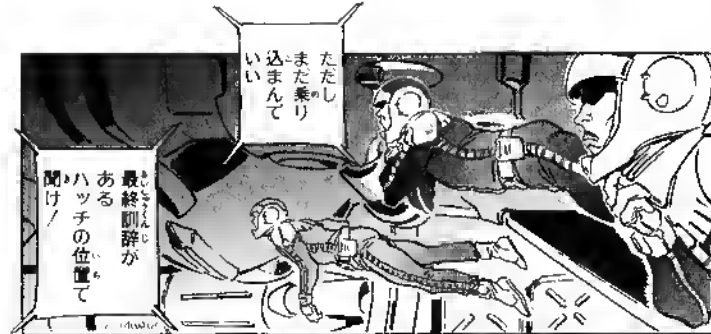


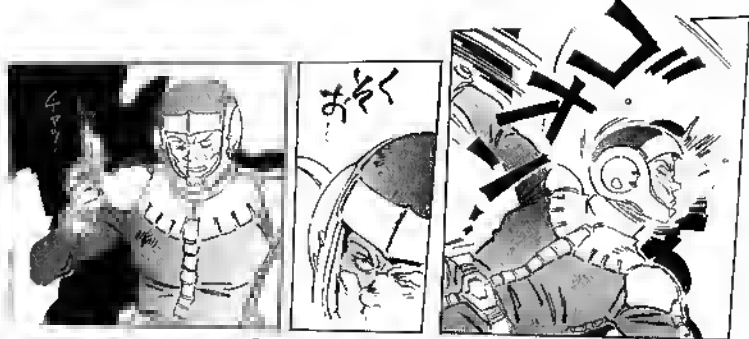
＊ドイツ版でFRAUは「婦人」

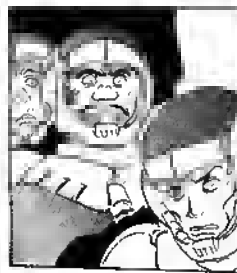
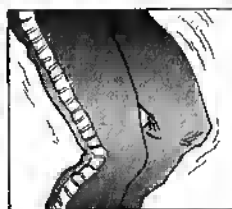




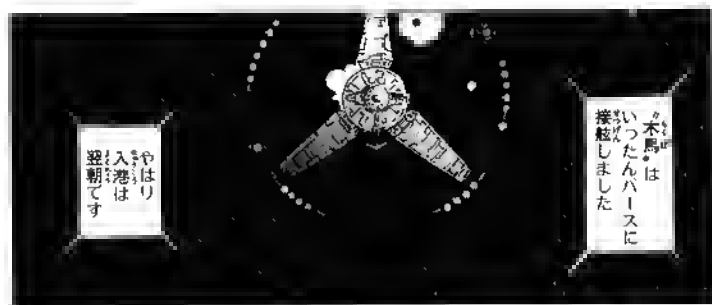




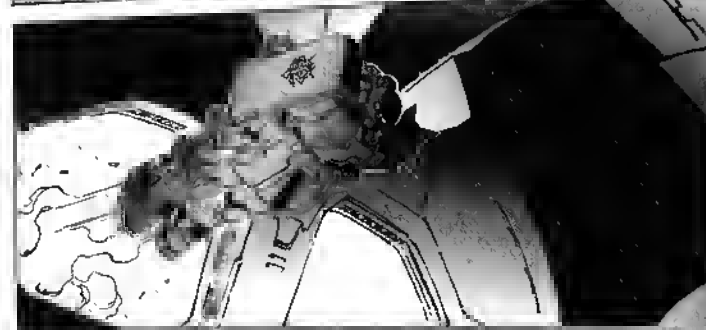
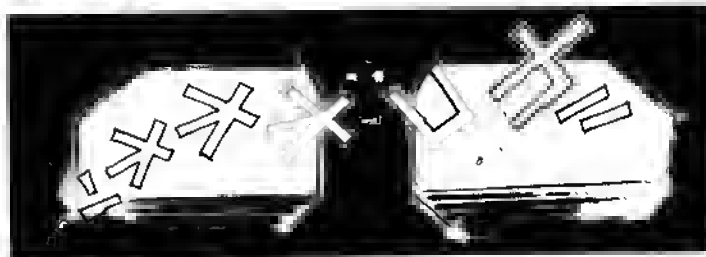
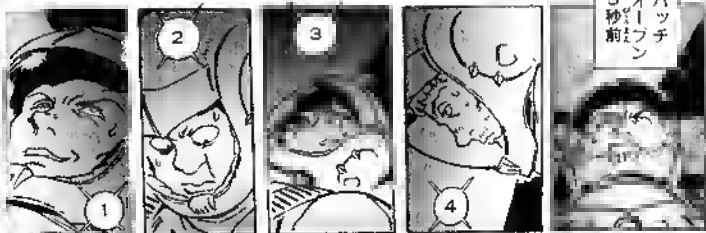








ハッチ
オープン
5秒前



デニム曹長機



これを
はすすな!!

to be continued...

Can you remain alive in spite of the WAR?



編集
平尾知也

文
瀧川朝二 (株式会社ブレインナビ)
倉田雅弘
木野幸男
鈴木孝介 (K&E)
平尾知也

添丁
種島トオル (Smile Studio)

本文デザイン
大島美晴(新読会社くまぐま団)
遠藤孝子(有限会社くまぐま団)
二橋真穂(有限会社くまぐま団)

協力
ガンダムエース編集部

Kadokawa Comics A

角川コミックス・エース
機動戦士ガンダム THE ORIGIN
公式ガイドブック

著者
安彦良和

原案/矢立肇・富野由悠季 メカニックデザイン/大河原邦男

2004年8月26日初版発行
2004年10月8日第2刷発行

発行者
井上伸一郎

発行所
株式会社角川書店
〒102-8177 東京都千代田区富士見2-13-3
電話／東京(03)3238-8530(営業)・(03)3238-8533(編集)
振替口座／00130-9-195208

印刷
凸版印刷株式会社

製本
株式会社コオトブックライン



本書の無断複製・複製・転載を禁じます。落丁・乱丁等は、
ご面倒でも小社受注センター照会係宛にお送りください。
送料は小社負担でお取り替えいたします。
この物語はフィクションであり、実在の人物・団体名とは
関係がございません。

2004 KADOKAWA SHOTEN, Printed in Japan

©YOSHIKAZU YASUHIKO 2004
©創通エージェンシー・サンライズ
ISBN4-04-713644-1 C0979

**機動戦士ガンダム
THE ORIGIN
公式ガイドブック**



9784047136441



1920979007406

ISBN4-04-713644-1

C0979 ¥740E

定価:本体740円(税別) 角川書店

機動戦士ガンダム THE ORIGIN 公式ガイドブック

安彦良和、完全描き下ろし「その前夜」収録
シャア率いるザク隊のサイド7への潜入――。
すべての発端となったこの作戦の、知られざる
『その前夜』がいま初めて明らかにされる。

機動戦士
ガンダム
THE ORIGIN